公共施設のあり方に関する
町民アンケート　調査結果

令和6年4月

湯沢町

目　次

1．アンケートの実施概要 3
（1）調査の目的 3
（2）調査方法 3
（3）報告内容 4
（4）標本誤差について 5

2．調査結果の総括 6
（1）施設の利用状況について 6
（2）施設の公共サービスのあり方について 6
（3）施設の総量縮減に関する考え方について 7

3．調査結果　−単純集計− 8
（1）問1 8
（2）問2 9
（3）問3 10
（4）問4 11
（5）問5 12
（6）問6 13
（7）問7 14
（8）問8 15
（9）問9 22
（10）問10 25
（11）問11 26

4．自由回答一覧 27
（1）問12（自由意見） 27

1.アンケートの実施概要

（1）調査の目的

町の保有する公共施設にあって、施設保有量、維持にかかる経費ともに高い割合を占める「スポーツ・レクリエーション系施設」の将来の方向性を検討するために、広く町民の皆さまから今後の公共施設のあり方について、ご意見を伺うことを目的にアンケート調査を実施した。

（2）調査方法

〇調査対象：町内在住の 18 歳以上の町民 2,000 人
〇抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
〇調査方法：郵送による配布/郵送による回収（Web アンケートフォーム併用）
（令和6年1月 11 日に郵便局より発送）
〇調査期間：令和6年1月 11 日～1月 26 日
〇調査内容：◎フェイスシート（年齢・性別・居住地区・職業・家族構成等の属性調査項目）
◎公共施設の利用状況について
◎今後の公共施設のあり方について
◎公共施設の再編を進めるにあたっての基本的な考え方について
◎自由回答欄
〇回収結果

配布数(a)	1,990 票
回収票数(b)	696 票（内 Web 回答 314 票）
回収率(b)/(a)	34.9%

※集計に関する留意事項
・配布数については、2,000 票のうち 10 票は住所不一致などの理由により配布が難しかったため、最終的な配布数は 1,990 票となった。
・条件付きで回答を求める設問に対し、条件に合わない回答は無効回答とした。

※表記に関する注釈
・調査結果は、比率を全て百分率（%）で表し、小数点第2位以下を四捨五入して表示している。そのため、比率の合計が 100.0%となっていない場合がある。

（3）報告内容

本報告書の報告内容は以下のとおりである。

設 問	単純集計	クロス集計							自由回答	備 考
		問1 年齢別	問2 居住地区別	問3 居住形態別	問4 男女別	問5 居住年数別	問6 職業別	問7 家族構成別		
問1	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問2	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問3	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問4	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問5	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問6	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問7	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問8 A	○	－	－	－	－	－	－	－	－	施設別で単純集計・クロス集計を実施
問8 B	○	－	－	－	－	－	－	－	－	施設別で単純集計を実施
問9	○	－	－	－	－	－	－	－	－	施設別で単純集計・クロス集計を実施
問10	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問11	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
問12	－	－	－	－	－	－	－	－	○	自由回答

（4）標本誤差について

本調査は、18 歳以上の市民全体（母集団）の中から、一部の町民を回答者として抽出して行う標本調査である。標本調査では、調査対象者を無作為に抽出して調査するため、母集団の値と一致せず、何らかの差が生じる。この差を「標本誤差」と言い、その値は、以下に示す式で算出可能である。また、標本から得られた結果が、仮に母集団全体を対象に調査した場合の結果であっても標本誤差の範囲に収まっている確率を信頼度と呼び、信頼度 95％を用いることが一般的である。

$$\text{標本誤差} E = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P\times(1-P)}{n}}$$

1.96：信頼度 95％の時の信頼度係数
N：母集団数（本調査では、令和6年1月4日時点の湯沢町の 18 歳以上の人口 7,327 人となる。）
P：ある設問のそれぞれの選択肢の回答の比率
n：ある設問の有効回答者数

調査対象者抽出時点の住民基本台帳における 18 歳以上の人口、すなわちNは 7,327 人で、nは 696 人であることから、$\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 0.9$となる。

標本誤差は、Pが 50％の時に最も誤差が大きくなる。本調査の場合、ある設問の選択肢 A をアンケート回答者のうち 50％が回答した場合、$E = 1.96 \times \sqrt{0.9 \times \frac{0.5\times(1-0.5)}{696}} \fallingdotseq 3.5\%$となるため、母集団である 18 歳以上の全住民は、95％の確率で上記の選択肢 A と回答する人の割合が 46.5％（50％-3.5％）から 53.5％（50％+3.5％）の間になる。

標本誤差の範囲は、一般的には 5％未満であることが望ましいとされており、本調査では標本誤差が最大でも約 3.5％であることから、母集団に対して妥当な回答者数を得られたと言える。

2.調査結果からの考察

（1）施設の利用状況について

いずれの施設に関しても、「ほとんど利用しない」、または「利用したことがない」と回答した方の割合の合計が過半数を越えている。「二居共同浴場（宿場の湯）」「旭原花の郷　陶芸工房　旭窯」「体験工房大源太」、「西中足湯ポケットパーク」「大源太キャニオン　青少年旅行村」「山鳥原公園」は、「ほとんど利用しない」、または「利用したことがない」と回答した町民の割合の合計が 80％以上と非常に高く、利用する町民が限られている。その施設のうち、「旭原花の郷　陶芸工房　旭窯」「大源太キャニオン　青少年旅行村」は、年間利用者数（平成 25 年度から令和元年度までの施設利用者の平均人数（無料利用者も含む））が 1 万人未満であり、他の施設と比べて町民以外の利用も少ない施設である。

全体の回答傾向と比較すると「20 歳代」「30 歳代」や「二世代で同居（未成年と同居）」「三世代以上で同居」の属性では、「湯沢高原関連施設」「道の駅　みつまた」「湯沢フィッシングパーク」において「月に 1 回以上」「年に 1 回以上」程度の定期的な利用が高い。居住形態の属性でマンション（所有、賃貸）でも同様の傾向がみられる。

公衆浴場5施設は、「三世代以上で同居」または年代が高くなるにつれて、定期的に利用している割合が高くなる傾向にある。

「湯沢中央公園施設」のうち、「湯沢カルチャーセンター」は、利用頻度が「年に1回以上」「週に一回以上」「ほぼ毎日」と回答した方の割合の合計が約 51％と他施設と比べて最も高い。また、「月に1回以上」、「週に1回以上」と回答した方の割合も最も高く、16％程度の町民が利用していると言える。湯沢中央公園施設の「湯沢カルチャーセンター」以外の施設は、いずれも「ほとんど利用しない」、または「利用したことがない」と回答した方の割合の合計が 90％を越えており、利用する町民が限られている。

全体の回答傾向と比較すると、「二世代で同居（未成年と同居）」「三世代以上で同居」では、「湯沢カルチャーセンター」「レジャープールオーロラ」「運動広場」の定期的な利用が高い。

マンション（賃貸）の回答属性は「レジャープールオーロラ」「運動広場」の定期的な利用が高い。

（2）施設の公共サービスのあり方について

町民一人あたりの負担額が大きい施設や収益がある「湯沢高原関連施設」「道の駅　みつまた」「湯沢フィッシングパーク」や、利用目的が限られる「旭原花の郷　陶芸工房　旭窯」「体験工房大源太」「大源太キャニオン青少年旅行村」では、「わからない」を除くと、「民間企業等に譲渡すべき」と回答した割合が高い特徴が見られる。

「湯沢高原関連施設」は、全体の回答傾向と比較するとマンション（所有、賃貸）の回答属性で「維持すべき」と回答した割合が高い。

「道の駅　みつまた」には、全体の回答傾向と比較すると「20歳代」「30歳代」や「二世代で同居（成人とのみ同居）」「三世代以上で同居」の回答属性で「維持すべき」と回答した割合が高い。

公衆浴場5施設は、「維持すべき」と回答した割合が高く、今後も町による維持管理を望む声が多いと考えられる。ただし、公衆浴場うち、「二居共同浴場（宿場の湯）」は、「維持すべき」の割合が比較的低く、「民間企業等に譲渡すべき」の割合が高くなっている。

「西中足湯ポケットパーク」、「山鳥原公園」は、「わからない」と回答した町民の割合が高く、利用状況も

約70％の方が「利用したことがない」と回答していることから、利用者が限定されていることも踏まえて公共サービスのあり方を検討する必要がある。

湯沢中央公園施設では、「わからない」を除くと、全ての施設で「利用料を値上げし、施設を維持すべき」と回答した割合が高くなっている特徴が見られる。

「湯沢カルチャーセンター」は「維持すべき」と回答した割合が6割以上を占める。

「レジャープールオーロラ」は「維持すべき」が約半数を占めていることに加え、「民間企業等に譲渡すべき」も25％と比較的高い割合を占めている。全体の回答傾向と比較すると「20 歳代」や「三世代以上で同居」「マンション（賃貸）」の回答属性は、「維持すべき」と回答した割合が高い。

その他の施設は、「わからない」と回答した方の割合が高く、利用状況もあまり高くないことから、利用者が限定されていることも踏まえて公共サービスのあり方を検討する必要がある。

（3）施設の総量縮減に関する考え方について

施設総量に関する考え方に対して、「施設の縮減を積極的に進めるべきである」「施設の縮減はやむを得ないと考える」といった施設保有量の縮減に対して肯定的な回答の割合は、スポーツ・レクリエーション系施設全体で 55.4％と過半を超えており、公共施設の再編（縮減）への一程度の理解があることが伺える。

年代別にみると40歳代、50歳代は、縮減に対して肯定的な回答の割合が半数を下回っており、他の世代に比べて施設を維持すべきと考える割合が高い。

また、全体の回答傾向と比較すると、「40歳代」以下や「二世代で同居（未成年と同居）」の回答属性は、「現時点で施設が不足しているため、新たな整備を進めるべきである」と回答した割合が高い。

居住形態別にみると、マンション（所有）の回答属性は、「施設の縮減を積極的に進めるべきである」が高い結果となっている。

優先的に維持すべき施設は、「ほぼ毎日」「週に 1 回以上」「月に 1 回以上」「年に 1 回以上」の定期的に利用している割合が高く、キッズスペースの設置により30～50歳代の子育て世代にも多く利用されている「湯沢中央公園」が最も回答が多い。次いで、全体と比較して「ほぼ毎日」利用していると回答した割合が60歳代、70歳代で高く、年間利用者数の多い「湯沢高原関連施設」や、町民による定期的な利用は20％程度であるが、観光施設として年間の利用者の多い「湯沢フィッシングパーク」の割合が高い。一方、「施設を知らない」と回答した割合が 15％を超える「旭原花の郷　陶芸工房　旭窯」「西中足湯ポケットパーク」「山鳥原公園」では、回答割合が低い。

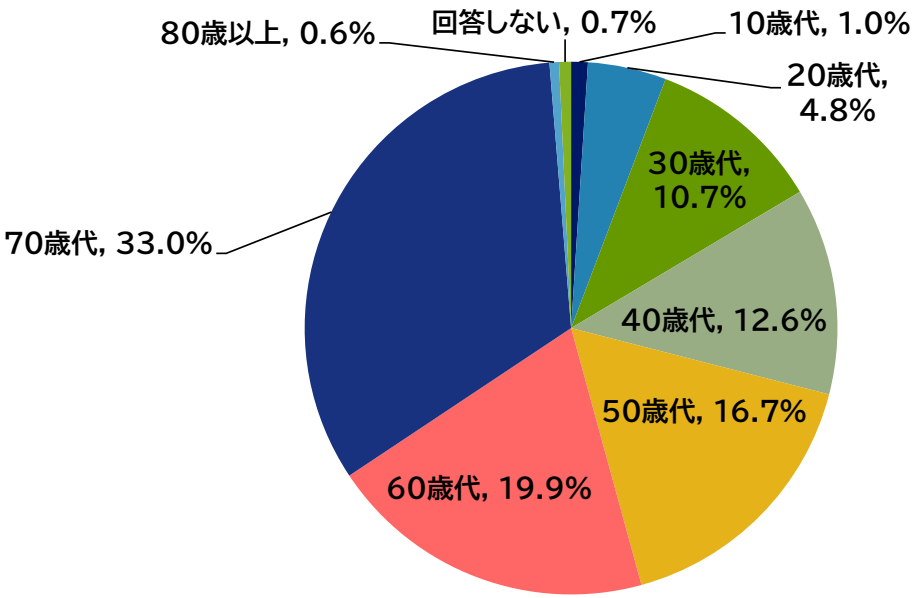
3.調査結果 –単純集計-

(1) 問1

あなたの年齢を教えてください。

回答者の約54%が60歳以上の高齢者である。

Q1		N	%
1	10歳代	7	1.0
2	20歳代	33	4.8
3	30歳代	74	10.7
4	40歳代	87	12.6
5	50歳代	116	16.7
6	60歳代	138	19.9
7	70歳代	229	33.0
8	80歳以上	4	0.6
9	回答しない	5	0.7
	全体	693	100.0

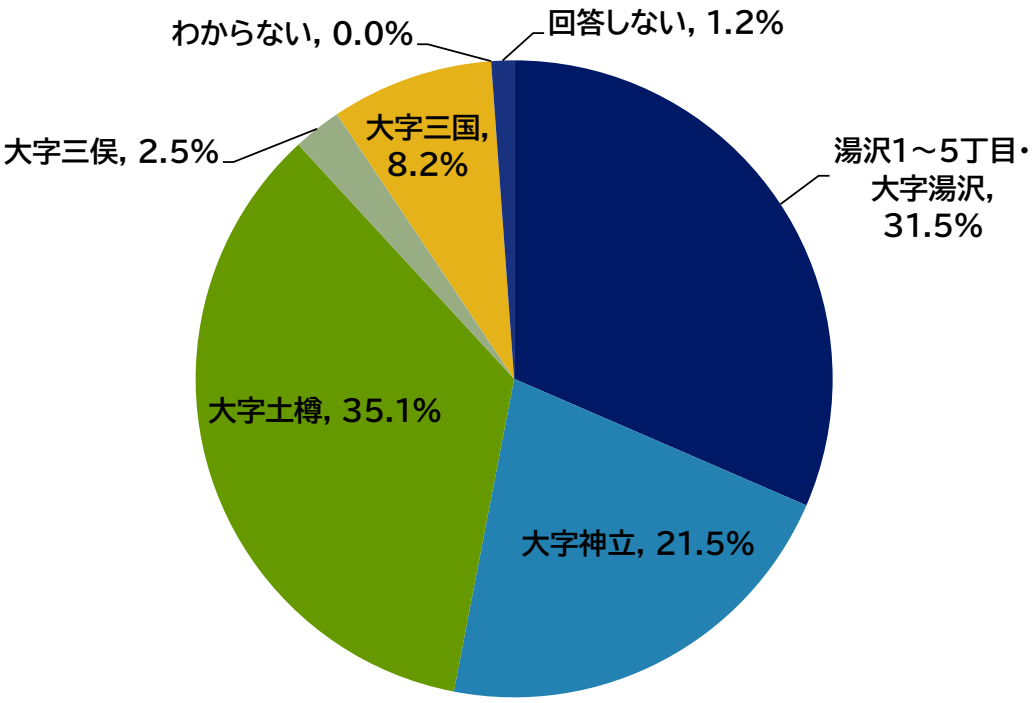


（2）問2

あなたのお住まいの地区を教えてください。

回答割合が高い順に、大字土樽、湯沢1～5丁目・大字湯沢、大字神立、大字三国、大字三俣となっている。概ね、地区別人口数を反映した結果である。（令和5年12月末時点の地区別人口数は、多い順に湯沢1～5丁目・大字湯沢、大字土樽、大字神立、大字三国、大字三俣）

Q2		N	%
1	湯沢1～5丁目・大字湯沢	218	31.5
2	大字神立	149	21.5
3	大字土樽	243	35.1
4	大字三俣	17	2.5
5	大字三国	57	8.2
6	わからない	0	-
7	回答しない	8	1.2
	全体	692	100.0

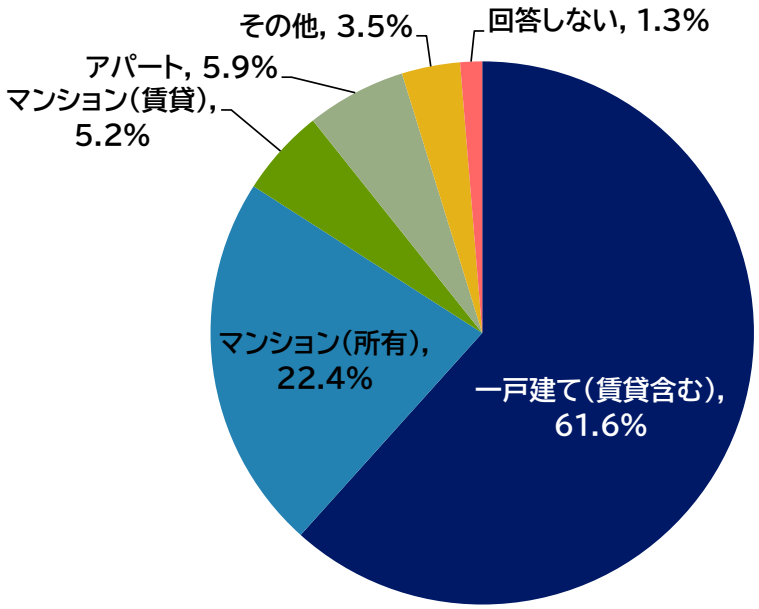


（3）問3

あなたの居住形態を教えてください。

回答者の約62%は一戸建て（賃貸含む）に居住している。マンションに居住されている方は、所有が22.4%、賃貸が 5.2%で合計約 28%である。

Q3		N	%
1	一戸建て（賃貸含む）	426	61.6
2	マンション（所有）	155	22.4
3	マンション（賃貸）	36	5.2
4	アパート	41	5.9
5	その他	24	3.5
6	回答しない	9	1.3
	全体	691	100.0

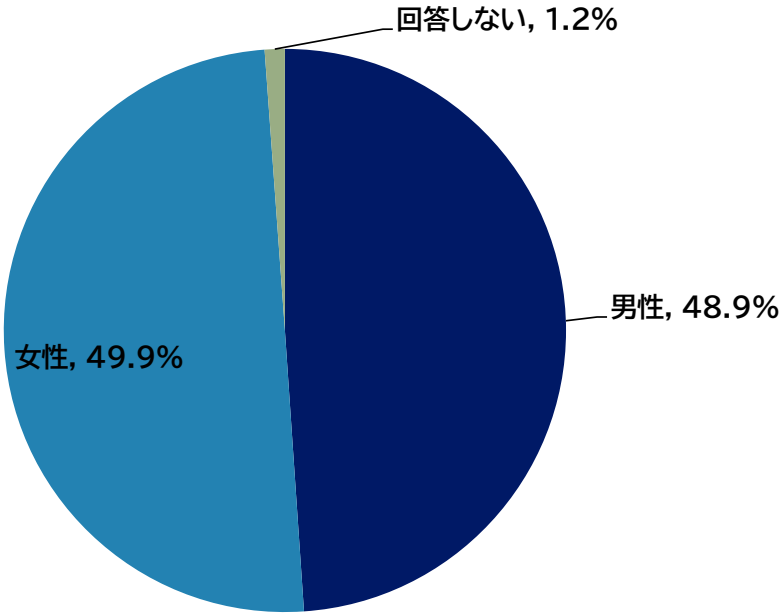


（4）問4

あなたの性別を教えてください。

回答者の性別はほぼ同数であり、女性の方がわずかに多い。

Q4		N	%
1	男性	339	48.9
2	女性	346	49.9
3	その他	0	-
4	回答しない	8	1.2
	全体	693	100.0

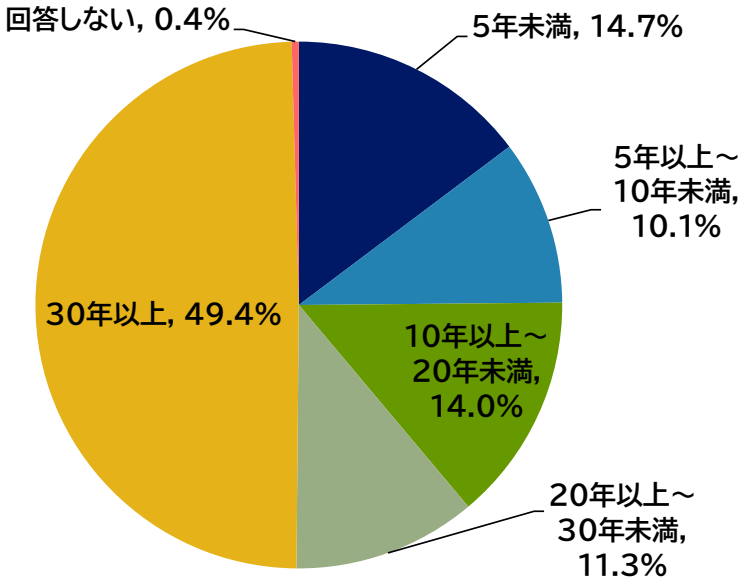


（5）問5

あなたの湯沢町における居住年数を教えてください。

回答者の約半数は30年以上居住されている。居住年数が 30 年未満の方は、いずれも 10～15%前後を占めている。

Q5		N	%
1	5年未満	102	14.7
2	5年以上～10年未満	70	10.1
3	10年以上～20年未満	97	14.0
4	20年以上～30年未満	78	11.3
5	30年以上	342	49.4
6	回答しない	3	0.4
	全体	692	100.0

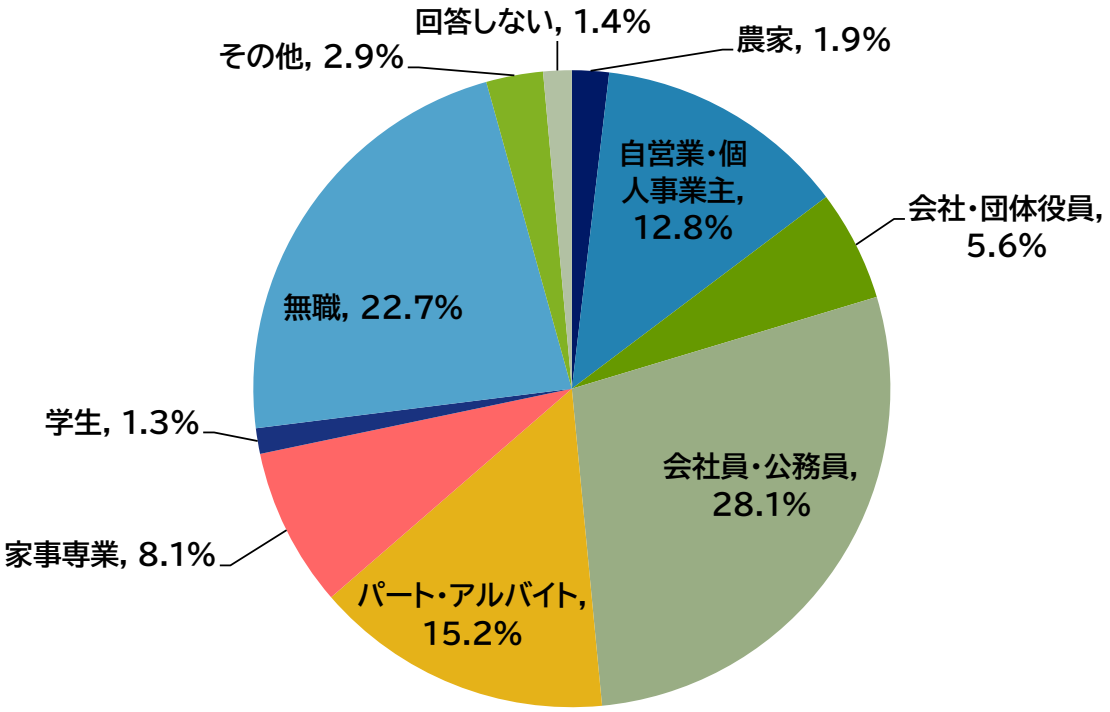


（6）問6

あなたの職業を教えてください。なお、兼業の方は、主な職業を1つだけ選んで○をつけてください。

回答者の職業は、「会社員・公務員」が約 28%と最も高く、次いで「無職」が約 23%、「パート・アルバイト」が約 15%と続いている。

Q6		N	%
1	農家	13	1.9
2	自営業・個人事業主	89	12.8
3	会社・団体役員	39	5.6
4	会社員・公務員	195	28.1
5	パート・アルバイト	105	15.2
6	家事専業	56	8.1
7	学生	9	1.3
8	無職	157	22.7
9	その他	20	2.9
10	回答しない	10	1.4
	全体	693	100.0

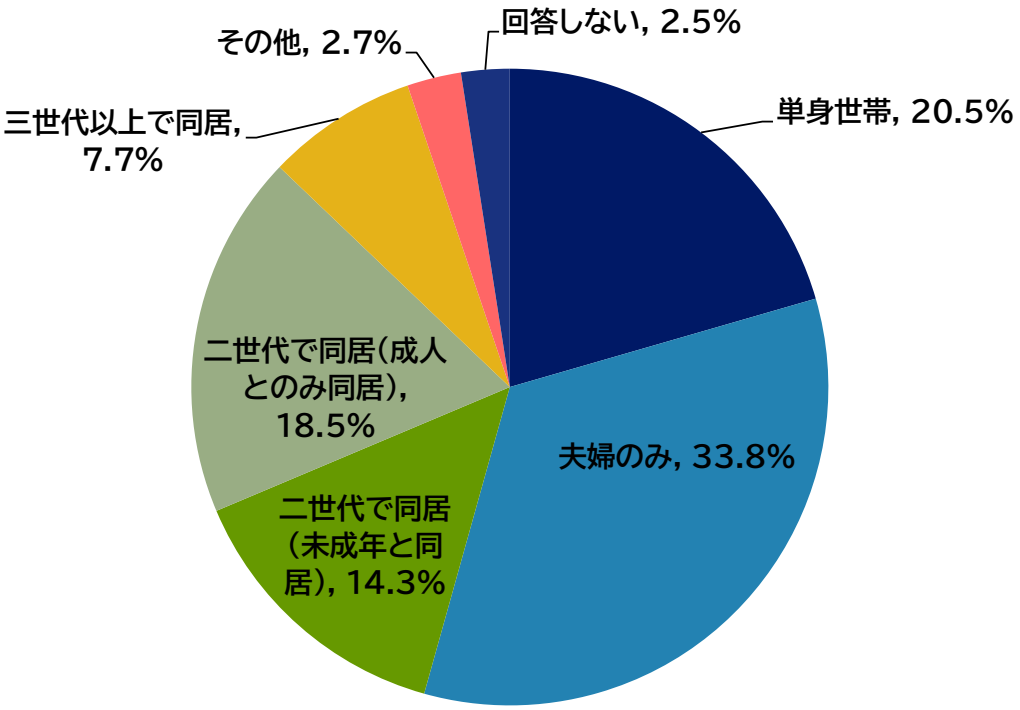


（7）問7

あなたの家族構成を教えてください。

回答者の家族構成は、「夫婦のみ」が約 34%と最も高く、次いで「単身世帯」が約 21%、「二世代で同居（成人とのみ同居）」が約 19%と続いている。

Q7		N	%
1	単身世帯	142	20.5
2	夫婦のみ	234	33.8
3	二世代で同居（未成年と同居）	99	14.3
4	二世代で同居（成人とのみ同居）	128	18.5
5	三世代以上で同居	53	7.7
6	その他	19	2.7
7	回答しない	17	2.5
	全体	692	100.0



（8）問8

次のページの各施設について、あなたやご家族の利用頻度を次の【A. 利用頻度の選択肢】から1つ選択し、回答欄に数字を記入してください。また、「5 ほとんど利用しない」または「6 利用したことがない」を選択した場合は、【B. 利用しない理由の選択肢】から該当するものを全て選択し、回答欄に数字を記入してください。

■問8A

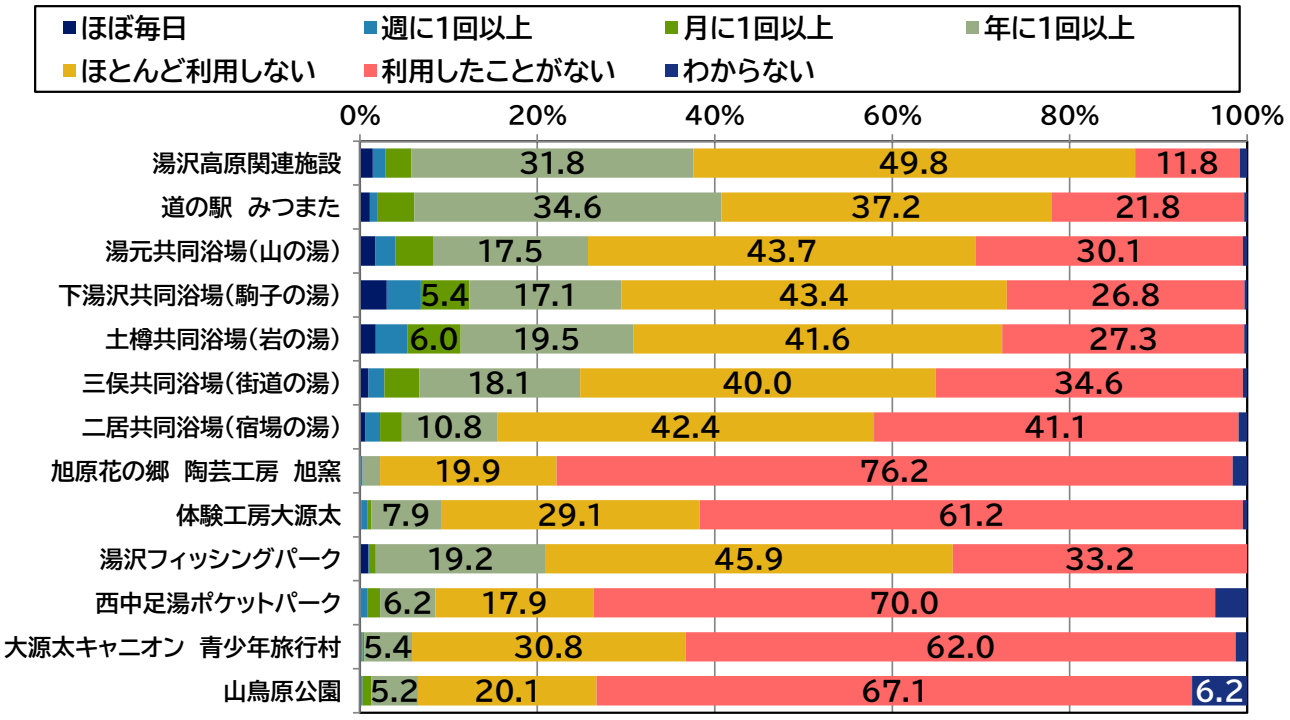
いずれの施設に関しても、「ほとんど利用しない」、または「利用したことがない」と回答した方の割合の合計が過半数を越えている。「二居共同浴場（宿場の湯）」、「旭原花の郷　陶芸工房　旭窯」、「体験工房大源太」、「西中足湯ポケットパーク」、「大源太キャニオン　青少年旅行村」、「山鳥原公園」は、「ほとんど利用しない」、または「利用したことがない」と回答した方の割合の合計が 80%以上と非常に高く、利用する町民が限られていることが伺える。

「湯沢高原関連施設」と「道の駅　みつまた」は、利用頻度が「年に1回以上」～「ほぼ毎日」と回答した方の割合の合計が約 40%前後と比較的高い。いずれの施設も「年に1回以上」と回答した方の割合が 30%以上を占めている。

「二居共同浴場（宿場の湯）」以外の公衆浴場は、利用頻度が「年に1回以上」～「ほぼ毎日」と回答した方の割合の合計が約 25%～30%であり、特に「下湯沢共同浴場（駒子の湯）」と「土樽共同浴場（岩の湯）」は利用頻度が「月に1回以上」、「週に1回以上」、「ほぼ毎日」と回答した方の割合が他施設と比べて高い。

「湯沢フィッシングパーク」は、利用頻度が「年に1回以上」～「ほぼ毎日」と回答した方の割合の合計が約 20%前後である。

Q8A		全体 上段:N 下段:%	1 ほぼ毎日	2 週に1回以上	3 月に1回以上	4 年に1回以上	5 ほとんど利用しない	6 利用したことがない	7 わからない
①	湯沢高原関連施設	617 100.0	9 1.5	9 1.5	18 2.9	196 31.8	307 49.8	73 11.8	5 0.8
②	道の駅　みつまた	616 100.0	7 1.1	5 0.8	26 4.2	213 34.6	229 37.2	134 21.8	2 0.3
③	湯元共同浴場（山の湯）	618 100.0	11 1.8	14 2.3	26 4.2	108 17.5	270 43.7	186 30.1	3 0.5
④	下湯沢共同浴場（駒子の湯）	624 100.0	19 3.0	24 3.8	34 5.4	107 17.1	271 43.4	167 26.8	2 0.3
⑤	土樽共同浴場（岩の湯）	616 100.0	11 1.8	22 3.6	37 6.0	120 19.5	256 41.6	168 27.3	2 0.3
⑥	三俣共同浴場（街道の湯）	612 100.0	6 1.0	11 1.8	24 3.9	111 18.1	245 40.0	212 34.6	3 0.5
⑦	二居共同浴場（宿場の湯）	611 100.0	4 0.7	10 1.6	15 2.5	66 10.8	259 42.4	251 41.1	6 1.0
⑧	旭原花の郷　陶芸工房　旭窯	609 100.0	0 -	2 0.3	0 -	12 2.0	121 19.9	464 76.2	10 1.6
⑨	体験工房大源太	611 100.0	1 0.2	4 0.7	3 0.5	48 7.9	178 29.1	374 61.2	3 0.5
⑩	湯沢フィッシングパーク	615 100.0	6 1.0	1 0.2	4 0.7	118 19.2	282 45.9	204 33.2	0 -
⑪	西中足湯ポケットパーク	610 100.0	0 -	5 0.8	9 1.5	38 6.2	109 17.9	427 70.0	22 3.6
⑫	大源太キャニオン　青少年旅行村	610 100.0	1 0.2	1 0.2	1 0.2	33 5.4	188 30.8	378 62.0	8 1.3
⑬	山鳥原公園	611 100.0	1 0.2	1 0.2	6 1.0	32 5.2	123 20.1	410 67.1	38 6.2



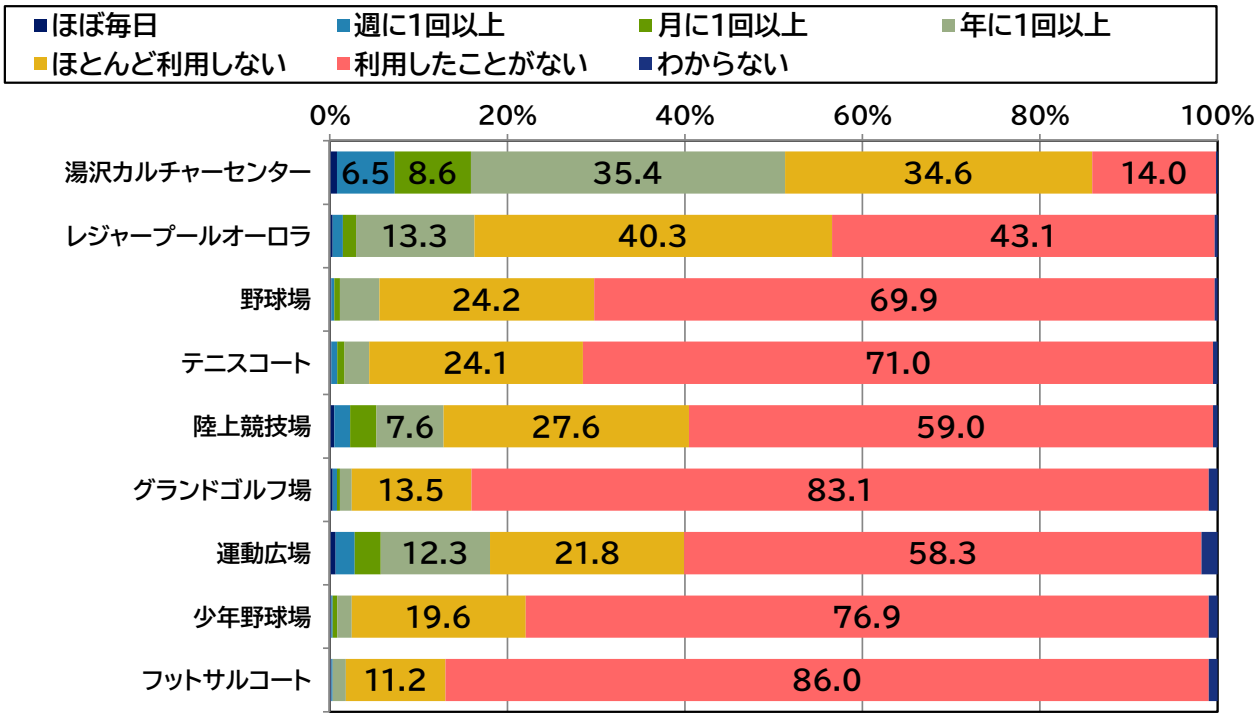
＜湯沢中央公園施設の詳細＞

「湯沢カルチャーセンター」は、利用頻度が「年に1回以上」～「ほぼ毎日」と回答した方の割合の合計が約 51%と他施設と比べて最も高く、「月に1回以上」、「週に1回以上」と回答した方の割合も最も高く、16%程度の町民が比較的高頻度で利用していると言える。

「レジャープールオーロラ」、「陸上競技場」、「運動広場」は、利用頻度が「年に1回以上」～「ほぼ毎日」と回答した方の割合の合計が 15%～20%前後である。

上記以外の湯沢中央公園施設は、いずれも「ほとんど利用しない」、または「利用したことがない」と回答した方の割合の合計が 90%を越えており、利用する町民が非常に限られていることが伺える。

Q8A		全体 上段:N 下段:%	1 ほぼ毎日	2 週に1回以上	3 月に1回以上	4 年に1回以上	5 ほとんど利用しない	6 利用したことがない	7 わからない
(1)	湯沢カルチャーセンター	616 100.0	5 0.8	40 6.5	53 8.6	218 35.4	213 34.6	86 14.0	1 0.2
(2)	レジャープールオーロラ	608 100.0	2 0.3	7 1.2	9 1.5	81 13.3	245 40.3	262 43.1	2 0.3
(3)	野球場	608 100.0	1 0.2	2 0.3	4 0.7	27 4.4	147 24.2	425 69.9	2 0.3
(4)	テニスコート	607 100.0	1 0.2	4 0.7	5 0.8	17 2.8	146 24.1	431 71.0	3 0.5
(5)	陸上競技場	608 100.0	3 0.5	11 1.8	18 3.0	46 7.6	168 27.6	359 59.0	3 0.5
(6)	グランドゴルフ場	608 100.0	2 0.3	3 0.5	2 0.3	8 1.3	82 13.5	505 83.1	6 1.0
(7)	運動広場	609 100.0	4 0.7	13 2.1	18 3.0	75 12.3	133 21.8	355 58.3	11 1.8
(8)	少年野球場	607 100.0	1 0.2	1 0.2	3 0.5	10 1.6	119 19.6	467 76.9	6 1.0
(9)	フットサルコート	606 100.0	1 0.2	1 0.2	0 -	9 1.5	68 11.2	521 86.0	6 1.0


ほぼ毎日
週に1回以上
月に1回以上
年に1回以上
ほとんど利用しない
利用したことがない
わからない
0%
20%
40%
60%
80%
100%
湯沢カルチャーセンター
6.5
8.6
35.4
34.6
14.0
レジャープールオーロラ
13.3
40.3
43.1
野球場
24.2
69.9
テニスコート
24.1
71.0
陸上競技場
7.6
27.6
59.0
グランドゴルフ場
13.5
83.1
運動広場
12.3
21.8
58.3
少年野球場
19.6
76.9
フットサルコート
11.2
86.0

■問8B

いずれの施設も、「施設を利用する目的が無い」と回答した方が最も多いことから、施設の需要が特定の人、時期、場面などに限られていると言える。特に、利用目的が限られる施設については、「施設を利用する目的が無い」と回答した方が集中する傾向にある。「その他」を除いて、次いで回答した方が多い選択肢については、施設によって様々である。

「湯沢高原関連施設」と「レジャープールオーロラ」は、「施設の利用料金が高い」と回答した方が2番目に多い。

「道の駅　みつまた」と公衆浴場5施設、「体験工房大源太」は、「施設が遠い」と回答した方が2番目に多い。「湯元共同浴場（山の湯）」と「下湯沢共同浴場（駒子の湯）」は越後湯沢駅の半径 1km 圏内に立地しているものの、それ以外の施設は山間部に立地しているため、施設までの移動距離が長い傾向にある。

「湯沢フィッシングパーク」、「湯沢カルチャーセンター」は、「施設のサービス内容に魅力を感じない」と回答した方が2番目に多いが、いずれの施設も3番目に多かった回答との差が僅かである点に留意が必要である。

上記以外の施設は、「施設を知らない」と回答した方が2番目に多い。

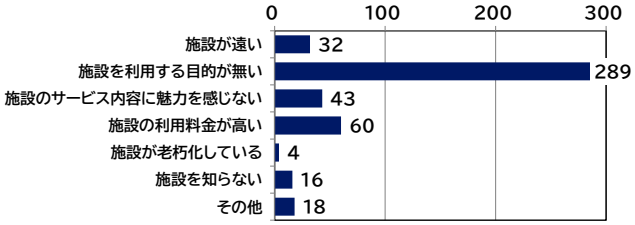
公衆浴場5施設については、自宅の最寄りの公衆浴場を利用出来れば問題無い状況であるため、最寄りでない公衆浴場の利用目的が無かったり、最寄りの公衆浴場と比べて他の公衆浴場が遠いと回答された方がいる可能性を有する。

Q8B		全体 上段:N 下段:%	1 施設が遠い	2 施設を利用する目的が無い	3 施設のサービス内容に魅力を感じない	4 施設の利用料金が高い	5 施設が老朽化している	6 施設を知らない	7 その他
①	湯沢高原関連施設	374	32	289	43	60	4	16	18
		100.0	8.6	77.3	11.5	16.0	1.1	4.3	4.8
②	道の駅　みつまた	358	126	238	39	2	2	18	9
		100.0	35.2	66.5	10.9	0.6	0.6	5.0	2.5
③	湯元共同浴場(山の湯)	447	95	275	32	6	21	24	43
		100.0	21.3	61.5	7.2	1.3	4.7	5.4	9.6
④	下湯沢共同浴場(駒子の湯)	425	76	282	33	11	3	23	34
		100.0	17.9	66.4	7.8	2.6	0.7	5.4	8.0
⑤	土樽共同浴場(岩の湯)	414	91	268	32	8	9	23	32
		100.0	22.0	64.7	7.7	1.9	2.2	5.6	7.7
⑥	三俣共同浴場(街道の湯)	450	178	262	26	8	4	24	23
		100.0	39.6	58.2	5.8	1.8	0.9	5.3	5.1
⑦	二居共同浴場(宿場の湯)	504	240	264	30	6	2	30	22
		100.0	47.6	52.4	6.0	1.2	0.4	6.0	4.4
⑧	旭原花の郷　陶芸工房　旭窯	577	85	412	48	5	3	90	21
		100.0	14.7	71.4	8.3	0.9	0.5	15.6	3.6
⑨	体験工房大源太	546	84	404	50	16	3	56	21
		100.0	15.4	74.0	9.2	2.9	0.5	10.3	3.8
⑩	湯沢フィッシングパーク	480	34	360	46	42	2	17	32
		100.0	7.1	75.0	9.6	8.8	0.4	3.5	6.7
⑪	西中足湯ポケットパーク	528	27	357	52	0	1	109	27
		100.0	5.1	67.6	9.8	-	0.2	20.6	5.1
⑫	大源太キャニオン　青少年旅行村	558	54	422	41	3	5	81	20
		100.0	9.7	75.6	7.3	0.5	0.9	14.5	3.6
⑬	山鳥原公園	523	88	310	32	0	2	160	12
		100.0	16.8	59.3	6.1	-	0.4	30.6	2.3

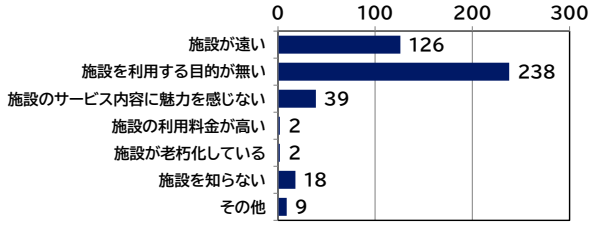
＜湯沢中央公園施設の詳細＞

Q8B		全体 上段:N 下段:%	1 施設が遠い	2 施設を利用する目的が無い	3 施設のサービス内容に魅力を感じない	4 施設の利用料金が高い	5 施設が老朽化している	6 施設を知らない	7 その他
(1)	湯沢カルチャーセンター	290	13	247	17	4	4	12	20
		100.0	4.5	85.2	5.9	1.4	1.4	4.1	6.9
(2)	レジャープールオーロラ	497	17	399	33	37	7	19	33
		100.0	3.4	80.3	6.6	7.4	1.4	3.8	6.6
(3)	野球場	561	10	513	7	0	3	26	20
		100.0	1.8	91.4	1.2	-	0.5	4.6	3.6
(4)	テニスコート	564	12	516	8	1	6	22	21
		100.0	2.1	91.5	1.4	0.2	1.1	3.9	3.7
(5)	陸上競技場	517	11	472	8	0	3	22	17
		100.0	2.1	91.3	1.5	-	0.6	4.3	3.3
(6)	グランドゴルフ場	575	10	514	14	1	0	41	19
		100.0	1.7	89.4	2.4	0.2	-	7.1	3.3
(7)	運動広場	478	13	415	11	0	0	39	19
		100.0	2.7	86.8	2.3	-	-	8.2	4.0
(8)	少年野球場	574	9	530	5	0	0	30	16
		100.0	1.6	92.3	0.9	-	-	5.2	2.8
(9)	フットサルコート	575	9	523	5	0	0	45	14
		100.0	1.6	91.0	0.9	-	-	7.8	2.4

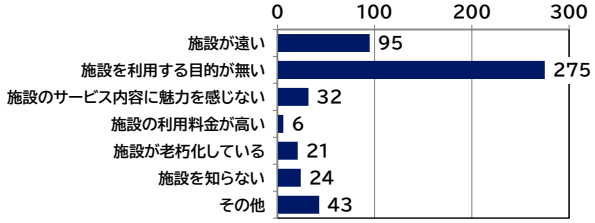
①湯沢高原関連施設



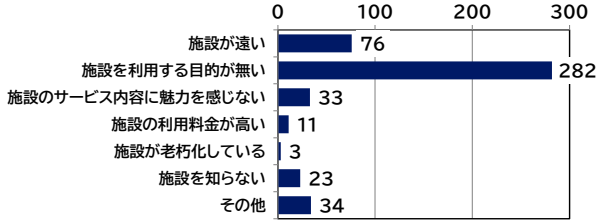
②道の駅　みつまた



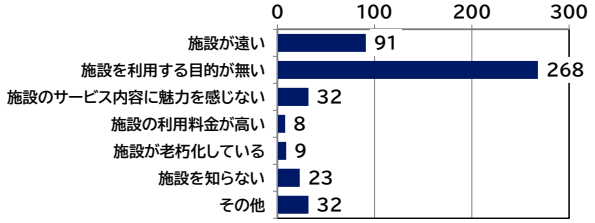
③湯元共同浴場（山の湯）



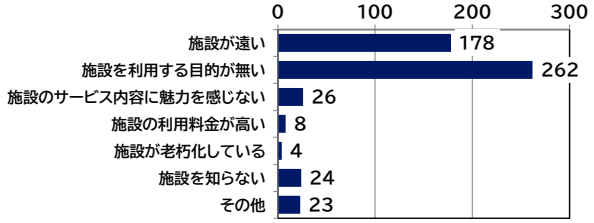
④下湯沢共同浴場（駒子の湯）



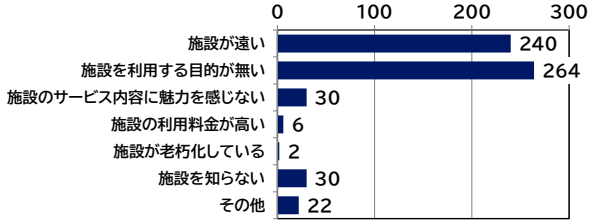
⑤土樽共同浴場（岩の湯）



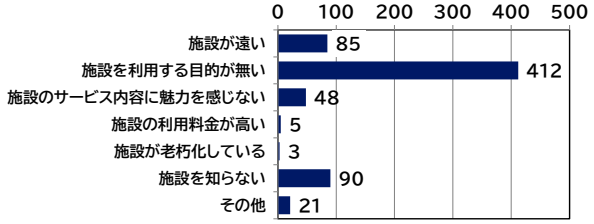
⑥三俣共同浴場（街道の湯）



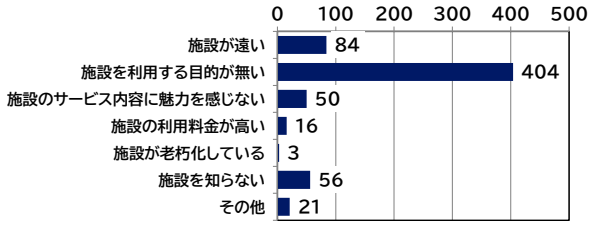
⑦二居共同浴場（宿場の湯）



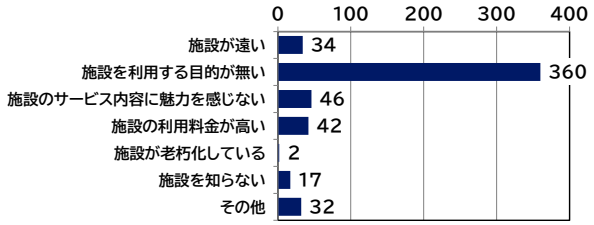
⑧旭原花の郷　陶芸工房　旭窯



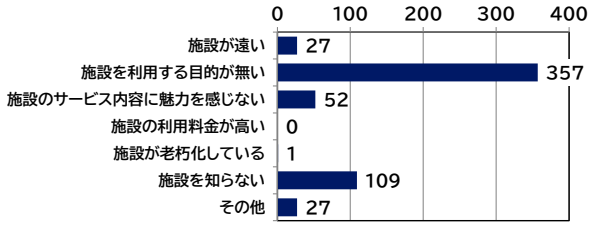
⑨体験工房大源太



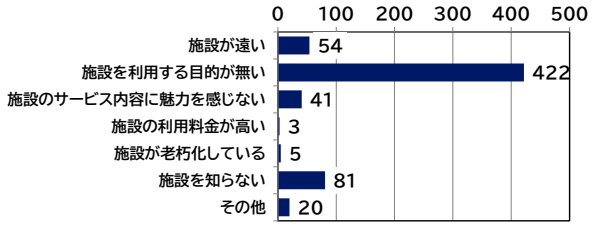
⑩湯沢フィッシングパーク



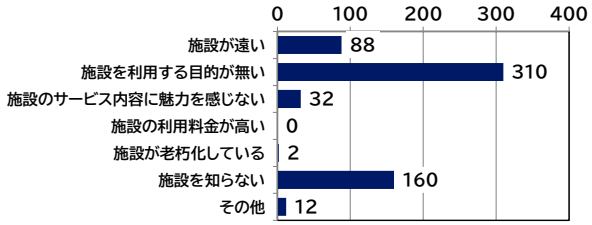
⑪西中足湯ポケットパーク



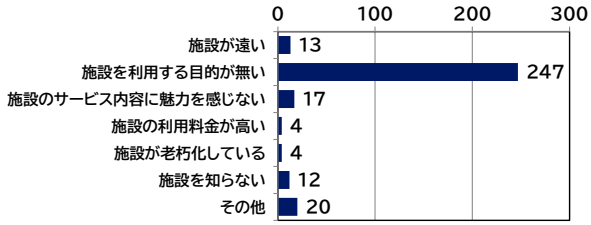
⑫大源太キャニオン　青少年旅行村



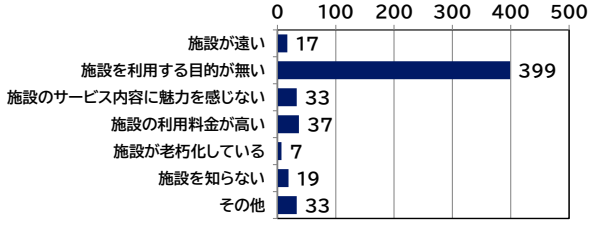
⑬山鳥原公園



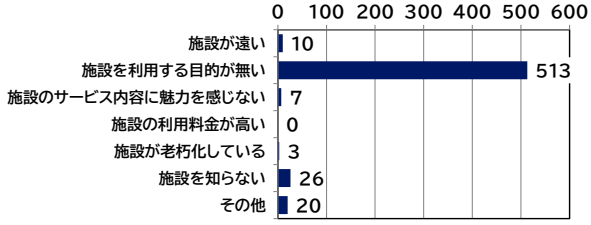
(1) 湯沢カルチャーセンター



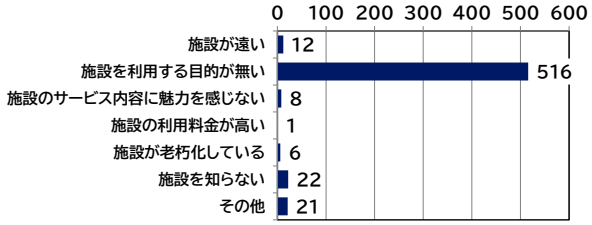
(2) レジャープールオーロラ



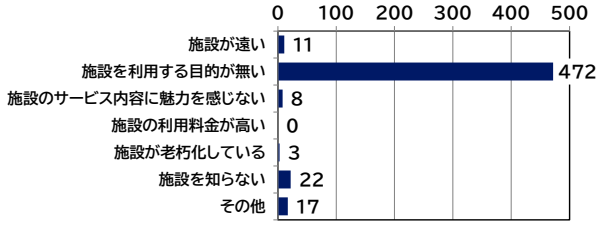
(3) 野球場



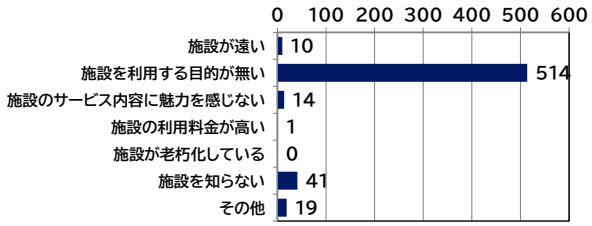
(4) テニスコート



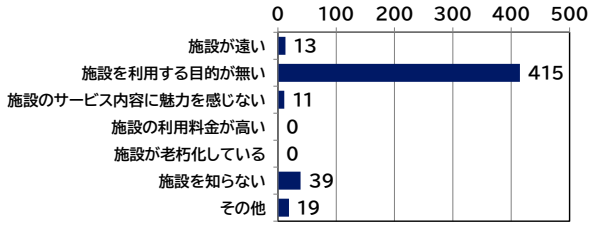
(5) 陸上競技場



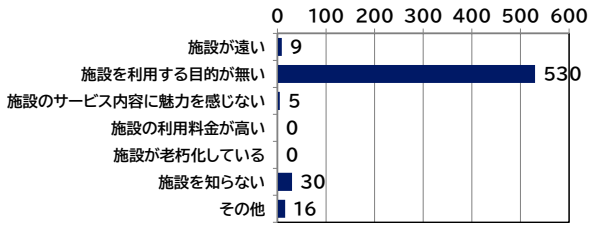
(6) グランドゴルフ場



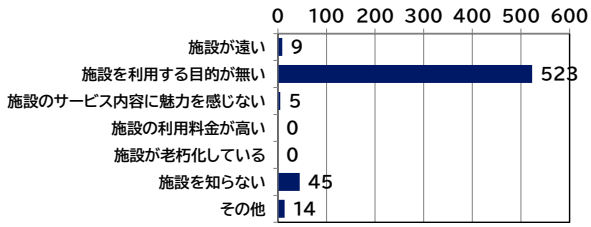
(7) 運動広場



(8) 少年野球場



(9) フットサルコート



（9）問9

町の各スポーツ・レクリエーション系施設について、次の選択肢のうち、あなたの考えに最も近い番号を以下の表内の回答欄に記入してください。

「湯沢高原関連施設」、「道の駅　みつまた」、「体験工房大源太」、「大源太キャニオン　青少年旅行村」は、「民間企業等に譲渡すべき」と回答した方の割合が30％以上と高い。

公衆浴場5施設は、「利用料を値上げし、施設を維持すべき」と回答した方の割合が約 21～28％と最も高いことから、利用者にある程度の負担増を求めた上で施設の維持を望む方がいることが伺える。「二居共同浴場（宿場の湯）」のみ他の公衆浴場4施設と傾向が異なり、「施設を廃止・解体すべき」と回答した方の割合が約 8％と若干高い。さらに、「二居共同浴場（宿場の湯）」以外の公衆浴場4施設は、利用料の値上げ、町の他の行政サービスの縮小、施設の規模や機能の縮小を通じた施設の維持を求める意見の割合の合計が約 50％前後を占めている。

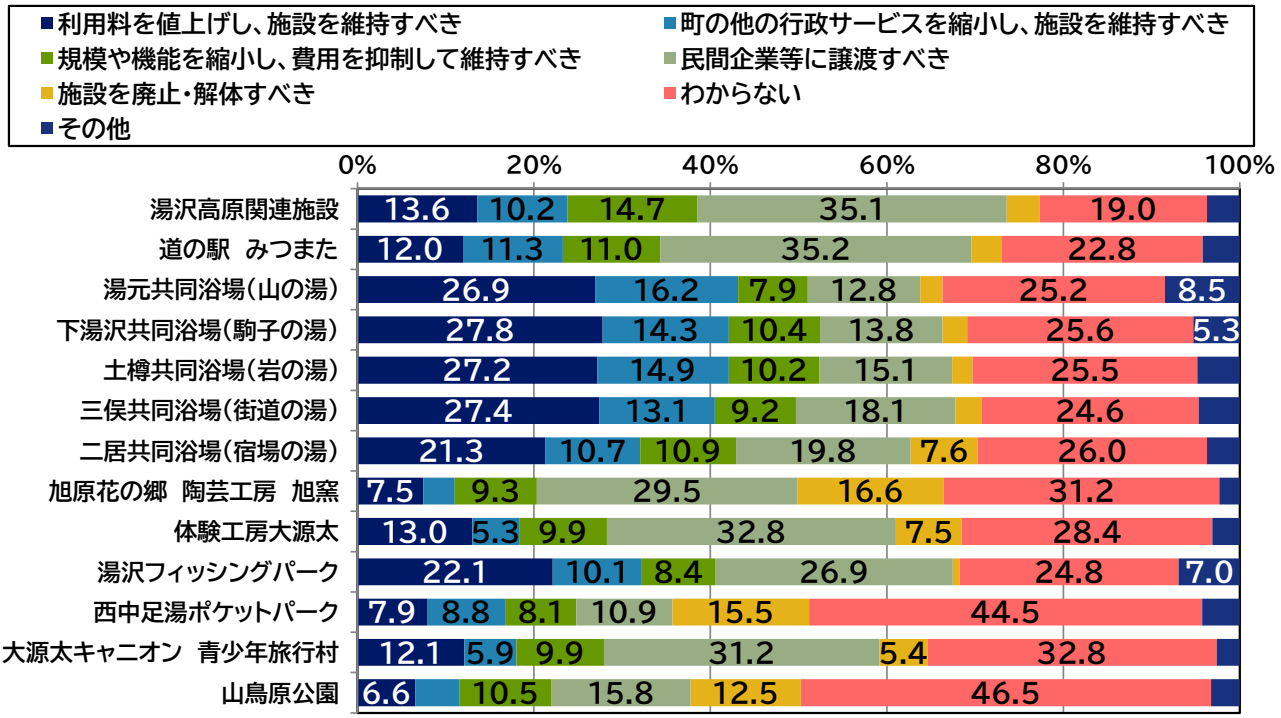
「旭原花の郷　陶芸工房　旭窯」は、「民間企業に譲渡すべき」と回答した方の割合が約30％と最も高くかつ、「施設を廃止・解体すべき」と回答した方の割合が約 17％と他施設よりも高い。

「湯沢フィッシングパーク」は、「民間企業等に譲渡すべき」と回答した方の割合が約 27％と最も高いが、次いで「利用料を値上げし、施設を維持すべき」と回答した方の割合が約22％である。

「西中足湯ポケットパーク」は、「施設を廃止・解体すべき」と回答した方の割合が約 16％と最も高いが、次いで「民間企業等に譲渡すべき」と回答した方の割合が約 11％である。

「山鳥原公園」は、「民間企業等に譲渡すべき」と回答した方の割合が約 16％と最も高いが、次いで「施設を廃止・解体すべき」と回答した方の割合が約 13％である。

Q9		全体 上段：N 下段：%	1 利用料を値上げし、施設を維持すべき	2 町の他の行政サービスを縮小し、施設を維持すべき	3 規模や機能を縮小し、費用を抑制して維持すべき	4 民間企業等に譲渡すべき	5 施設を廃止・解体すべき	6 わからない	7 その他
①	湯沢高原関連施設	647 100.0	88 13.6	66 10.2	95 14.7	227 35.1	24 3.7	123 19.0	24 3.7
②	道の駅　みつまた	644 100.0	77 12.0	73 11.3	71 11.0	227 35.2	22 3.4	147 22.8	27 4.2
③	湯元共同浴場（山の湯）	635 100.0	171 26.9	103 16.2	50 7.9	81 12.8	16 2.5	160 25.2	54 8.5
④	下湯沢共同浴場（駒子の湯）	644 100.0	179 27.8	92 14.3	67 10.4	89 13.8	18 2.8	165 25.6	34 5.3
⑤	土樽共同浴場（岩の湯）	644 100.0	175 27.2	96 14.9	66 10.2	97 15.1	15 2.3	164 25.5	31 4.8
⑥	三俣共同浴場（街道の湯）	642 100.0	176 27.4	84 13.1	59 9.2	116 18.1	19 3.0	158 24.6	30 4.7
⑦	二居共同浴場（宿場の湯）	643 100.0	137 21.3	69 10.7	70 10.9	127 19.8	49 7.6	167 26.0	24 3.7
⑧	旭原花の郷　陶芸工房　旭窯	644 100.0	48 7.5	23 3.6	60 9.3	190 29.5	107 16.6	201 31.2	15 2.3
⑨	体験工房大源太	644 100.0	84 13.0	34 5.3	64 9.9	211 32.8	48 7.5	183 28.4	20 3.1
⑩	湯沢フィッシングパーク	633 100.0	140 22.1	64 10.1	53 8.4	170 26.9	5 0.8	157 24.8	44 7.0
⑪	西中足湯ポケットパーク	633 100.0	50 7.9	56 8.8	51 8.1	69 10.9	98 15.5	282 44.5	27 4.3
⑫	大源太キャニオン　青少年旅行村	644 100.0	78 12.1	38 5.9	64 9.9	201 31.2	35 5.4	211 32.8	17 2.6
⑬	山鳥原公園	641 100.0	42 6.6	32 5.0	67 10.5	101 15.8	80 12.5	298 46.5	21 3.3



＜湯沢中央公園施設の詳細＞

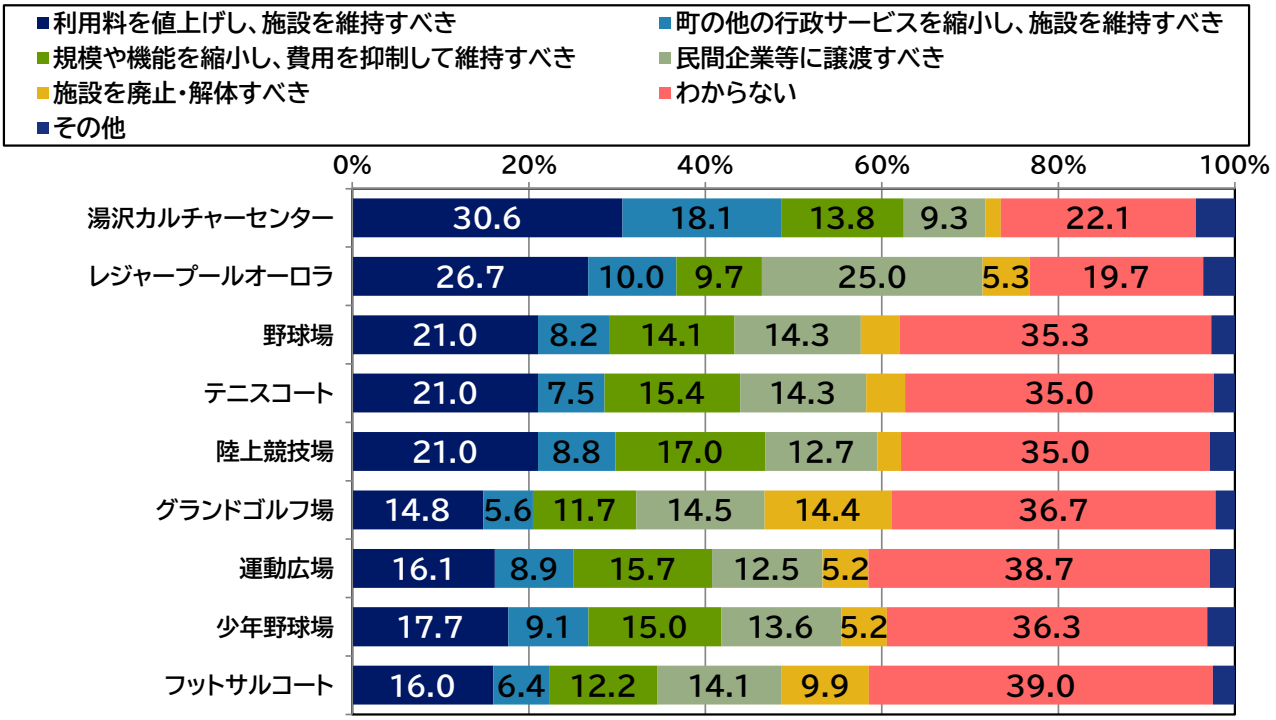
「湯沢カルチャーセンター」は、「利用料を値上げし、施設を維持すべき」と回答した方の割合が約 31%と最も高く、次いで「町の他の行政サービスを縮小し、施設を維持すべき」の約 18%、「規模や機能を縮小し、費用を抑制して維持すべき」の約14%と続く。町による施設の維持を求める意見の割合が約 63%と全施設を通じて最も高いことから、引き続き町で施設を維持し続けるための方策の検討が必要になる。

「レジャープールオーロラ」は、「利用料を値上げし、施設を維持すべき」と回答した方の割合が約27%と最も高いが、次いで「民間企業等に譲渡すべき」と回答した方の割合が 25%とほぼ同じ割合である。

「グランドゴルフ場」は、「町の他の行政サービスを縮小し、施設を維持すべき」、「分からない」、「その他」以外の意見がいずれも約 12～15%と分散していることから、クロス集計を通じて回答者属性に応じた傾向を明らかにする。

上記以外の湯沢中央公園施設は、いずれも「利用料を値上げし、施設を維持すべき」と回答した方の割合が最も多く、「民間企業等に譲渡すべき」と回答した方の割合が約 13～14%前後である。

Q9		全体 上段:N 下段:%	1 利用料を値上げし、施設を維持すべき	2 町の他の行政サービスを縮小し、施設を維持すべき	3 規模や機能を縮小し、費用を抑制して維持すべき	4 民間企業等に譲渡すべき	5 施設を廃止・解体すべき	6 わからない	7 その他
(1)	湯沢カルチャーセンター	637 100.0	195 30.6	115 18.1	88 13.8	59 9.3	11 1.7	141 22.1	28 4.4
(2)	レジャープールオーロラ	640 100.0	171 26.7	64 10.0	62 9.7	160 25.0	34 5.3	126 19.7	23 3.6
(3)	野球場	637 100.0	134 21.0	52 8.2	90 14.1	91 14.3	28 4.4	225 35.3	17 2.7
(4)	テニスコート	637 100.0	134 21.0	48 7.5	98 15.4	91 14.3	28 4.4	223 35.0	15 2.4
(5)	陸上競技場	637 100.0	134 21.0	56 8.8	108 17.0	81 12.7	17 2.7	223 35.0	18 2.8
(6)	グランドゴルフ場	640 100.0	95 14.8	36 5.6	75 11.7	93 14.5	92 14.4	235 36.7	14 2.2
(7)	運動広場	638 100.0	103 16.1	57 8.9	100 15.7	80 12.5	33 5.2	247 38.7	18 2.8
(8)	少年野球場	639 100.0	113 17.7	58 9.1	96 15.0	87 13.6	33 5.2	232 36.3	20 3.1
(9)	フットサルコート	639 100.0	102 16.0	41 6.4	78 12.2	90 14.1	63 9.9	249 39.0	16 2.5



なお、いずれの施設についても、「わからない」と回答した方の割合が20%～45%程度であるため、具体的な施設の方向性を検討する上では、住民の方々の判断材料となる情報を整理し、丁寧に議論を進めることが求められる。また、「わからない」と回答された方は、問8Aで「施設を利用したことがない」と回答した方が、その施設の今後のあり方が「わからない」と回答した可能性がある点に留意が必要である。

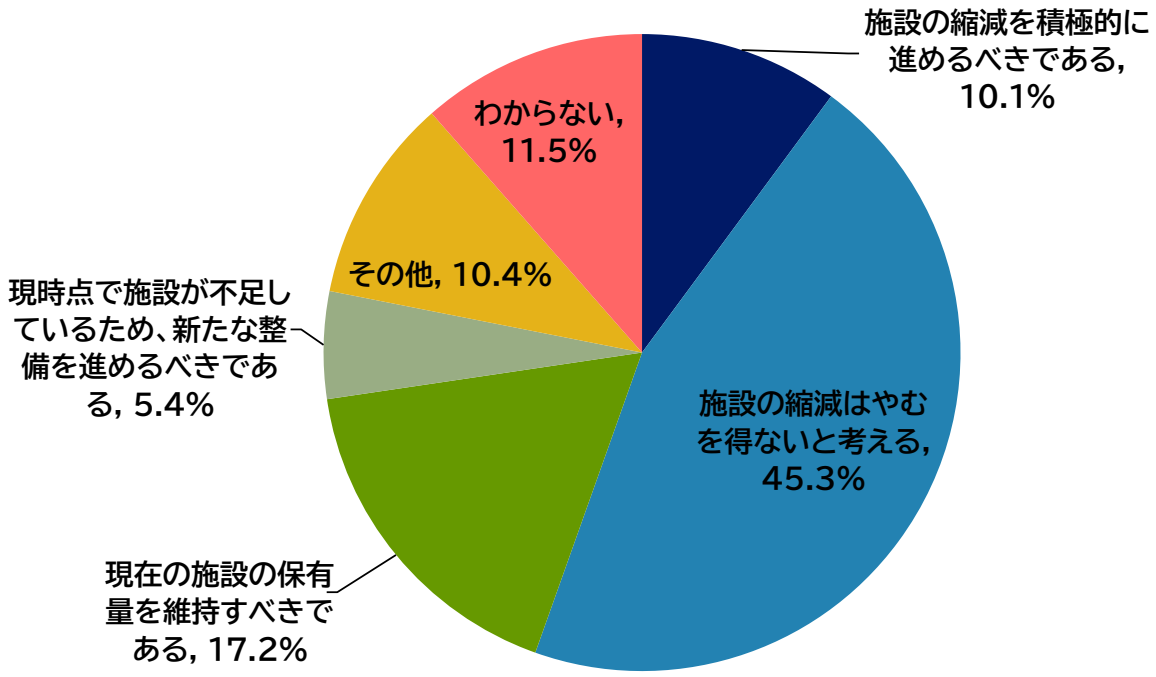
問10

今後のスポーツ・レクリエーション系施設のあり方についてどのように考えますか。
あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。

今後のスポーツ・レクリエーション系施設のあり方については、「施設の縮減を積極的に進めるべきである」と回答した方の割合は約10％であり、「施設の縮減はやむを得ないと考える」と回答した方の割合の約45％を合わせると、全体の約55％を占めている。このことから、施設の縮減については一定のご理解をいただけていると言える。

一方で、「現在の施設の保有量を維持すべきである」と回答した方の割合も約 17％であるため、現在の施設の利用状況や、施設の方向性に関する考え方なども踏まえて、今後町として保有する施設の総量を検討する必要がある。

Q10		N	%
1	施設の縮減を積極的に進めるべきである	67	10.1
2	施設の縮減はやむを得ないと考える	300	45.3
3	現在の施設の保有量を維持すべきである	114	17.2
4	現時点で施設が不足しているため、新たな整備を進めるべきである	36	5.4
5	その他	69	10.4
6	わからない	76	11.5
	全体	662	100.0



（10）問11

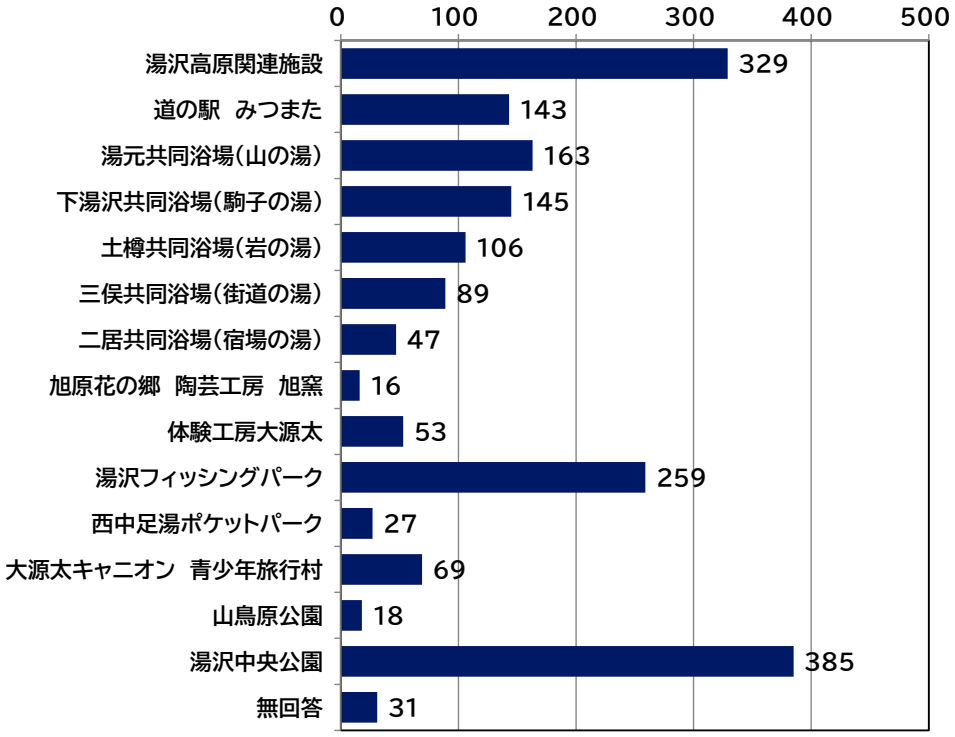
町のスポーツ・レクリエーション系施設に関して、優先的に維持すべきと考える施設は次のうちどれですか。

最大3施設まで選んで○をつけてください。

最も意見が多かった施設から順に、「湯沢中央公園」の 385 件、「湯沢高原関連施設」の 329 件、「湯沢フィッシングパーク」の 259 件と続いている。

Q11		N	%
1	湯沢高原関連施設	329	47.3
2	道の駅　みつまた	143	20.5
3	湯元共同浴場（山の湯）	163	23.4
4	下湯沢共同浴場（駒子の湯）	145	20.8
5	土樽共同浴場（岩の湯）	106	15.2
6	三俣共同浴場（街道の湯）	89	12.8
7	二居共同浴場（宿場の湯）	47	6.8
8	旭原花の郷　陶芸工房　旭窯	16	2.3
9	体験工房大源太	53	7.6
10	湯沢フィッシングパーク	259	37.2
11	西中足湯ポケットパーク	27	3.9
12	大源太キャニオン　青少年旅行村	69	9.9
13	山鳥原公園	18	2.6
14	湯沢中央公園	385	55.3
	無回答	31	4.5
	全体	696	100.0

※上表の各施設の回答数は、延べ数であるため、回答数の合計値は「全体」とは一致しない。「全体」は本アンケートの回答者数であり、各施設の回答割合は「全体」に対する回答数の割合を示しているため、割合の合計値も 100%にはならない。



４．　自由回答一覧

自由回答欄を設けた問 12（自由意見）で回答いただいた意見を以下で整理する。原文をそのまま記載することを基本としているが、一部不明瞭な文字は「■」に置き換えて記載している。また、「現状維持」など、複数名から同様の意見をいただいている場合は重複意見を削除し、「特になし」などの意見は一覧から割愛した。

（1）問12（自由意見）

施設が多く縮減も視野に入れた中で、新たに作るのが一部の声が大きい人が要望しているスケボーパークなのは、どうかと思う。 作るのなら少ないコストで大きな恩恵のある施設をお願いいたします。 スケボーパークを子供たちの未来のためというのなら、まず学校にきちんとした冷房を入れてあげてください。
カルチャーに関しては老朽化もあるとはいえ、常日頃から綺麗に維持されており、かなり使い心地が良いと感じる。この使用料金で使用できるのはありがたいと感じる。平日仕事終わりに集まれるので、フットサルコートは夜間照明をつけていただきたい。三俣地区はフジロック、苗場スキー場までの重要な休憩拠点であるため、維持整備は積極的に行ってほしい。
今回の調査資料を拝見して湯沢町での公共施設の多さと維持費が財政に影響をもたらしていることを深く感じました。あらゆる手段で広報活動をされていると思いますが、町民として知らなすぎたことにも反省をしているところです。今回のアンケートの内容を活かした結果が楽しみです。申し訳ないですが利用状況の少ない施設はどんどんきっていき民間委託が良いと思います。
湯沢高原については、早く民間に譲渡すべきである。 観光客の利用者が少なく、無くなっても町民が困らない施設（陶芸工房、旭窯、山鳥原公園）は廃止すべきである。
町民の使用度が高い施設は維持すべきだと思います。 公共施設を作るときは費用対効果をきちんと好評すべきだと思います。
共同浴場については、年間会員の負担を上げるべきだと思います。 観光客向けではなく、町民にとって必要なものを整備することが、人口増加又は維持につながるのではないでしょうか。
移住者が増えているタイミングなので、公共施設を民間に移せる準備を進めながら、新規事業を行う移住者にうまいこと貸せるような仕組みを考えておくひつようあり。観光地なのにどんどん寂れていくのは見ていてツラい。新しいことをやる人たちにお金と場所を提供できる街づくりになっていくことを願っています。
一部の利用者のみが享受される施設よりも、もっとリサーチしてたくさんの人を呼べる施設の在り方を考える必要がある
湯沢町には子供達が遊べる遊具や施設などが少なく町外にあそびにいかなければなりません。もう少し子供達が遊べる環境を作ってもらいたいなと思っております。
維持管理能力のある企業、団体に譲渡すべきである。
利用目的がある人が一定数いるのであれば利用料金の負担増は町ではなく、利用者が負担することはしかたがないことと思います。

個人的な意見ですが、 不特定多数の人が利用する施設は維持すべきだと思います。(一見さんが多い施設は入り口を広げておくことで移住者や観光客増加につながるかと考えます。) 逆に固定の利用客の多い施設は、民間企業への売却または、より利益を生む運営へ切り替えることは良いと思います。
湯沢町は観光資源:豊かな自然環を積極的に利用して、多くの人が来町して楽しめる町にする企画を考案すれば良いと考えます。
集約可能な施設は集約し管理費用を節約する。施設利用の利便性を上げる。
Q11 の質問で3施設しか選べませんでしたが、立ち寄り湯の維持も必要と考えます。
特有の個性ある楽しめる場所が無さすぎる 人が集まるようなアウトレットの誘致など考えるべきである
「今収益が出ていないから手放す」ではなく、集客方法や情報発信などのマーケティングに注力すれば収益を上げられる場所も多くあると思いますので、取捨選択は慎重に行っていただきたいです。
雨の日でも遊べたりする公共施設があるといいなぁと思っているのです。 ボルダリングができたりなど。湯沢町の足湯は、雨でも濡れないような場所を増やしてほしいです。
気軽に寄りたくなる場所があるといい。
維持管理費の負担が少なくなる方策を導入し経費の節減を図り、民間の力も借りて経営してみる。
子供から大人まで遊べる多目的、広場、ドローン、クライミング、BBQ 等 個々の趣味を楽しめる街に。
まず受益者負担の原則を徹底し、使った人が必ず負担するようにしないと不公平です。建設費にしろ維持費にしろ誰がが負担しているのであり、タダはないということを町民が理解しなければならないと思います。 このアンケートの結果については、町民無料や高齢者無料などの恩恵を受けている施設への評価にバイアスがかかっている疑いがあり、真に町の将来を考えた回答にならないような気がします。
湯沢に めごランドのような子供の遊び場施設に六日町のような図書館が併設してある施設があれば、自然も豊かで鬼に金棒、 子供のいる世代がもっと移住してくるのでは と思う。
公共施設を維持管理するために、企業誘致を進めて財政を安定させるべき。高齢者ばかりなのだから公共施設は災害対策として必要だと思うが、冬季の災害を想定して公共施設は全て屋根付きにしておいた方が良いのでは？
消防団入団者には安く利用出来るようにすべき
行楽関係施設(高原、温泉、公園等)に関しては、民間に任せ新しい風と収支をシビアに向き合う体制をとる。 中央公園に関しては、町のイベント等あるので、町で運営し、景観整備を。 グランド等は、有料化に。 合宿等使用時は、宿泊施設から徴収。宿泊による収入がある為。 料金については考慮も。
中央公園の足湯がある公園は管理が悪く、芝で犬の糞やオシッコで衛生上良くない。 また野球等していてユックリ出来ない。
旅行者ももちろんですが、住民(町民)が楽しめるリクリエーション・娯楽施設を充実して、町民が心身ともに豊かな暮らしが送れるようになれば良いと思います。
町民としては冬場の運転施設、お客として来るなら温泉施設は大事なんではないかと思う。 フィッシングパークはシーズン中かなり混んでいると思うので、多少料金を上げても大丈夫なのではないかなと。 プールは冬も利用できるような施設になればいいとは思うが、光熱費とかを考えると無理なんでしょうか。
町民が行きたくなるようにしてほしい。

人口が減って行く一方です。 越後湯沢に来たら?温泉入って帰ろうよ。 ピンポンパンポン、越後湯沢、ゆうたんでーす、キャラクター使って宣伝する。 NHK のチョコチャンに叱られる、のようなボケツトしてるんじゃ～ね?ょ!!! みたいな感じで、
町民や観光客に対してのアプローチが弱いと感じます
近隣の町でできる事はやらない。コンパクトに遊びの要素のある VR とか AR で野球やテニスで運動できれば、スポーツ選手もスポーツに興味ない人も利用できる施設が理想。
子供(小学生)が遊べる室内遊びと公園がほしい。 十日町にあるめごらんどは素晴らしいのでぜひお願いします
宿場の湯が大好きで夫婦で毎日利用しています。 どうか継続して下さいお願いします！！
公園等の駐車場を貸出可能にして、自動車競技等に利用出来る様にして欲しいと思った。
旧湯沢小学校にお金をかけて作っている施設の目的、必要性が分からない。観光のためなのか、町民のためなのか? 町民のためなら本当に必要あるものなのか疑問。観光のためなら作る場所間違ってると思う。無駄使いと周りはみんな言っている。疑問しかない。せっかくお金をかけるのに、誰の意見を聞いて施設を作っているのか?謎すぎる
全年齢の方が使えるような施設(湯沢カルチャーセンターなど)は優先的に残したほうがいいと思っている。
存続の取捨選択に加えて、民間企業を活用し、稼げる公共施設を増やしていくのが良いと思います。
町で維持するもの、民間企業に移管できるものを仕分けして、巨額のものについての規模縮小や廃止を人口激減期前に取組む必要がある。
老朽化が進んでいる施設が多くありますが、利益が上がっていない施設は早めに廃止し、利用者が多い施設は設備投資をし、お客さんを引き入れる。
官民協同経営のような新しい仕組みを構築すべき
古くなっている施設を新しくすることは難しいと思うのですが、修理や掃除で何とかなる部分も多くあると思うので、せめて共同浴場は清潔にしていてほしい。カルチャーセンターの職員の方は見回ってみてはいかがか？
湯沢町は観光地で年間の観光客が多いにもかかわらず魅力的な施設がない。民間企業との積極的な意見交換のもと、もっと魅力的な観光客に自信をもって教えられる施設をつくるべきだと思う。
ただでさえ町民税が高いのだから、無駄な支出は抑えていくべき。年間、数百～数千人しか利用しない施設に関しては廃止した方がいい。
わたくしは公共施設を使用しませんので殆ど解りませんが、使用している方にとって必要な施設があると思います。 故に、多くの方の希望によって残す施設と廃棄施設を分別することは今後の湯沢町の財政問題の関係で必要だと思います。 今後ともよろしくお願いいたします。
どの施設も無くなるのは寂しいです。
譲渡した後も湯沢町民が優先的に利用できるなら民間等に譲渡を検討しても良い
湯沢町へ移住してまだ数か月なのでこの町の公共施設について詳しくはないのですが、湯沢高原や道の駅などの年間を通して集客の見込める施設は利用料や維持費が少しかかっても現状維持してほしいと

思います。また、普段は公共施設を利用する機会がないので、何等かのイベントや集客のための企画などがあれば行ってみたくなると思います。
地方によっては旅館に温泉がなく共同浴場を利用するオン世知もあります。または各旅館がお互いのお風呂をお客様に利用してもらう所も在ります。もっと温泉場として魅力のある方法があるのでは。熱海のように BB 旅館という営業形態もあります。食事は店外で食べてもらというスタイルです。その代わり料金は安く。各部屋に露天風呂がついていて、料理も三ツ星シェフの季節の料理で超お高い一泊一人十万円ぐらいの旅館もあります。スキーだけでなく、限られた資源である温泉を使った街づくりも考えた方が良いのでは、景観条例を作って町全体の建物の在り方から考え、町全体を作る考えで頑張ってほしい。
宿場の湯ですが、ジャグジーが封鎖され非常にみっともない状態です。建前としてはレジオネラ対策との事ですが、機械故障が原因なのであれば稼働中の浴槽を拡大するなど早くに改修・整備をされることを強く望みます。
宿場の湯のジャグジー風呂を動かして欲しい。内湯とサウナ一つに 600 円の料金は高く感じる。運営のご夫婦が売店を充実させたり頑張っているので、他の使われていない施設を縮小し、予算を頑張っている所に回して欲しい。
町民は利用料の割引などあってもいいとおもう。
今ある施設を厳選し縮小した上で、町民、観光者のニーズに合った観光、スポーツレクリエーションの施設を整えて欲しい。
キャンプやサウナなど流行っているモノに乗っかって施設を利用しやすく改善して、町民も気軽に楽しめるようになって欲しい
室内でも遊べるところの提供
高速直結の道の駅などあったらいいと思います。また、民間に任せられるのなら、任せるべきと思います。
緊急避難場所だけではない、自家発電、備蓄品や移動トイレ等の共存が必要だと思います。
観光地という観点から施設が整っているのは集客しやすいという一面もあるが、スポーツ合宿の変化や縮小等踏まえ、求められるものを見極めてゆく必要があると感じています。
ここに来れば何かしらイベントしていておもしろい、とか、綺麗に整備されていて気持ちいいと感じられる施設にしてほしい。
公共施設が給付であるという点を忘れずに地域の人のための場であることを願います。
どの施設も老朽化が気になる。修繕にお金を掛けても収益があげられる観光地としての湯沢町に貢献できる施設と町で暮らす子どもたちのために使える施設は残すべき。
転んでも危なくない中央公園をよく利用していますが、 小さい子が遊べる遊具等を増 やして欲しい。
PR でもっと利用しやすい紹介が必要。利用者の負担は適切に。ただあるだけで、利活用の工夫や促進が足りない。地域外からの利用促進が必要。述べ 2 万人未満は廃止もやむなしだが、まず利用促進してみて。
カルチャーセンターのトレーニング施設を拡充し、お年寄りから若者まで運動できるようにしてもらいたい。負荷重量も重たい物も置いてほしい

どの施設も利用者数が多いとは言いがたい印象だが、入浴施設などは生活に密着している施設なのでなくなったら困る人もいると思う。 いずれの施設も町の負担になっているのなら民間企業に譲渡するのが良いのではないかと思う。
利用状況を確認して対処。 若い人の要望を聞いて新たな施設も必要。
大反発を承知の上で既存施設の今後の在り方を費用対効果を数値で診断するなど抜本的な取り組みが必要かと思います。
総体的に各施設は創設時のままであるイメージ。Z 世代とは言わないまでも時代に追いついたイノベーションが必要と思います。そこには官民の連携がとても、重要。
要望ですが 来年小学生になる子供がいます。また未満児の子供もおります。今年度までカルチャーセンターを今まで利用しておりましたが、小学生になると利用出来なくなります。園児と小学生が一緒に家以外で遊べる場所がなく、冬は体を動かすにも天気が悪い日は外でも遊べず困ってます。カルチャーセンターに小学生が遊べるスペースを作ってほしいです。 カルチャーセンターが土日も開放されているのでとても助かってます。小学生向けにも同じような施設がほしいです。または、現在ある施設を開放してほしい。 開放している施設があれば 保育園や学校等に施設が掲示されているとありがたいです。(隣町も含め)
サッカーグラウンドがあるといいと思います。
施設が維持しやすいものを作っていくべき。
湯沢高原は絶対に民間企業に譲渡すべき。 冬場のスキー人口は皆無と言ってよい、他のスキー場に比べても明らかに少ない(人気がない)。町の財政を圧迫しているのは湯沢高原である。湯沢医療センターもそうであるが、これについては致し方ないことである。
街が主体ではなく、個人や企業が参加しやすい様にすればいいのでは。 環境美化等にサポートすれば雇用もうまれるのでは
縮小のみならず、収益が上がる用途に変更をするのが良いと思う。冬季に老人が運動できる場所として、カルチャーセンターは維持が必要だと思う。
湯沢の子供たちは無料にするべき。
民間に譲渡すべき
中途半端な施設が多い。 将来を見据え費用を掛けてでも立派な施設の建設が良い。
??温泉施設はカルチャーセンターでわざわざ券を作ったりしないと町民割引ができないので 券を持ってなくても 町民割引ができるように 湯沢町在住というのが証明できる写真付き身分証で割引があるともっと利用者が増えるのではないかと思う。 ??湯沢高原はもう少し町民の日が増えると 利用しやすくなるのではないかなと思う。 町民の日のみ三国・三俣地区や土樽など少し遠い地区の人たちが利用しやすいようにバスなんかを出すのもありなのでは？
若い年齢の人などはそれほど利用しないのとお年寄りの方も利用するのが少ないため減らした方がいいと思うが観光客が多く利用するものは残すべきだと思う
Q10 でも述べたが、町民が積極的に利用すべき。事業者が存続を求めるのであれば、事業者達も維持費に協力及び金銭的な負担をすべき。

夫婦と５ヶ月の赤ちゃんと性格しています。今は、中々、町の施設を利用できていませんが、これから子供が大きくなったら利用したいです。町民割引などは助かっています。
観光を考慮し、集客が望まれる施設を優先管理する。又、ゴロフ施設を充実化し、町の集客に活かす。
レジャープールの他に町民が利用できるフィットネス用のプールが欲しい　旧湯沢小学校や旧湯沢中学校のプールの周りを囲って室内プールにするのはどうでしょうか
西口駅前の足湯のような無駄なものに我々の税金を使わないでほしい。 共同浴場も町の規模に対して多すぎる。 通年通して湯沢高原しかアピールできるモノがないに近いので高原の施設整備には力を入れるべきである。
温泉マニアの間での湯沢町の山の湯以外の共同湯の評価は日本国内の温泉の中で最低最悪　越後湯沢温泉 外湯めぐり うーん、これではなぁ・・・ 湯沢と言うと、関東の人からすれば、スキーと温泉と言うイメージが非常に強くて、伊豆、熱海、箱根、鬼怒川、草津なんかと並ぶ、代表的な温泉地だと思うのですが・・・　これではちょっと・・・ 残念ですね。　友人が、隣で、「浴感がまったく無いお湯と言うのも存在するんですねぇ」と、感心？していました。　正直な感想を言うと、入った直後に出たくなってしまいました。 地名に「湯」の文字を冠するのだから、もうちょっと良いお湯を提供して欲しかったです。 ちょっと悲しくなってしまった一湯でした。　湯沢町で発行している、共同浴場の湯めぐり手形。 1500 円で、5 箇所の施設に入る事が出来ます。 それにしても、湯沢町は一体何を考えているのでしょうね？ 100 歩譲って、塩素循環が絶対必要だとしたとします。 でも、そんなお風呂の湯巡り手形を作って、何がしたいのでしょう？　次々に襲ってくる塩素循環のお湯達に、こんなに悲しい湯めぐり手形は、私の湯めぐりの経験の中で、他にありませんでした。 湯の町、湯沢。自らその名前を穢しているような気がするのは、私の気のせい？ 仮に特徴の無い単純泉だったとしても、鮮度良くお湯を使えば、気持ちが良いのですけどねぇ・・・
昨年東京から移住しました。湯沢に来て、浴場施設に町民だと 300 円で入れる制度は素晴らしく魅力的です。 ありがとうございます。
活用の仕方がないわからない場所もありますし、合宿で使いやすい環境も整えて今あるグランドや施設を活かすべきだと思います。
今回のアンケートの 2～3 ページ目に他の地域との比較がありましたが、これ自体はとても良い取り組みだと考えます。ただ情報の記載方法に恣意的なものを感じます。　例えば他の 9 町村と比べて、のところですが、それぞれの人口、税収と合わせて比較しないと意味がないのではないでしょうか？ また施設ごとのアンケートを取るのであれば、それぞれの施設の稼働率・利益率・人件費率・町民利用率などのデータを出さないと、町民としても正確な判断をくだせません。　今回のデータを「町民のアンケートの結果はこうでした」と示すには無理があるのではないかと思いますので、今回の調査結果だけで全てを判断しないようにしていただきたいと思います。
無駄遣いしないで欲しい
スポーツ施設等民間では難しいものは維持し 共同浴場等は民間でよいのではないか
低価格で提供するレストランやカフェを併設すべき。
民間に委託できるところはしてよいのではないか。 町の活性化の為、スポーツ施設、公園施設は従実してもらいたい。子供の遊べる遊具の充実した公園が欲しい。

無駄な施設が多い気がするので整理するのは良いと思います。
住民利用は限定されるが、合宿含めた観光客の利用が見込まれる施設であれば安易に廃止出来ない。観光も個々の施設で動かないで民間宿と DMO 等が複数施設のパッケージプラン商品などを売り出して利用者を増やすなどしないと、今回のような施設利用は見込めないと思う。
人口の割に公共施設が充実していると思いますが、充分な活用がなされていないと感じます。利用のアナウンスも必要と思います。 観光に訪れてくださる方々が冬季のみならずオールシーズン訪れたくなるイベントがあると町民も楽しめるのではないでしょうか。
公共施設での勤務は、働き先の選択肢が少ない（ホテルの募集ばかり…）湯沢町では数少ない選択肢の一つ。いま働かれている方々もおり、その方々が安定して働ける環境があってこそ住民サービスでないでしょうか。移住定住を促進して頂きぜひ多くの方々に湯沢町に来て頂きたいと思う一方で、いま湯沢に住み、公共施設で働き生活している方々が窮屈に感じ、町を去ってしまっては元も子もないのではないかと考えてしまいます。
オリンピックの競技が 変わるように　施設も　増やすのではなく 未来の子供達のために 考えて欲しいわからなければ　関連の方に相談する。
経済的な負担が増えないよう上手に維持管理をしてもらい、利用したくなる様な運営をお願いしたいです。 子供が喜ぶ施設がもっと増えるといいです。 なんも無くなると寂しいので、色々な工夫して維持して欲しいです。
単なる場所、施設の提供ではなく、サービスの付加価値を付け「利用して頂く」という「おもてなし」の姿勢が大切。 独自のイベントやリピーター用のポイント制など導入しては如何ですか
カルチャーセンターや共同浴場は住民の利用が多いと思われ、健康維持や憩いの場となっていますので、多少維持費がかかっても公共施設として維持する必要があると思います。一方で主に観光客が多く利用する施設は、経営を民間へ譲渡し、効果的に利益を上げてもらい、町民も利用しやすくすることで、双方の利益になると思います。
湯沢中央公園のスポーツ施設を廃止して、跡地にアウトレットモールを誘致すべき。また、カルチャーセンターを廃止して、建物を役場庁舎に転用すべき。
公共施設は町民は無料で使えるようにすべき。 特に湯沢高原関連は、負担が大きい上に町外利用が多いと思われるのでなおさらである。
オーロラプールを温泉プールにして年間で収益が上がるようにしてほしい。
基本は許される予算内で維持管理されるべきかと思われます。アンケートでは、今の利用者数で維持管理していくために必要な（町の負担金なしの場合の）利用料金を計算して提示していただき、その上で、町で負担可能なトータル予算を提示していただき、町民みんなの、町の負担金で利用料金を下げてほしい程度を聞いてみた方が良いように思われます。湯元共同浴場（山の湯）のように、負担なしで運営できている施設もあるようですので、それを見習って、他の施設も運営するとか、できなければ廃止するか、それでも（諸事情あって）町の負担金でなんとか運営してほしいという希望が多いものは予算の範囲内で絞り込んで運営（維持管理）するしかないように思われます。
公共施設のサービスの中には、売上が立つものがあれば、そうでないものも。もし売り上げがたつなら、それらを展開させて維持経費の削減・補助にあてることで負担を緩和できたら望ましい。 単純な利用料の値上げではないと思う。客離れに繋がる懸念もありそう。 もし現状で利用客の需要が高そうなサービ

ス・コンテンツであるなら、仮に利用料金を下げても、さらに利用客が増えていけば売上は立つ可能性もある、また利用者が増えることで施設の活性化にも繋がる。 施設を活用した人を呼びこめる魅力的なサービス・コンテンツの選別・再展開も検討の余地があるように思いました。
雨の日でも遊べる大きな施設があればよい 公園はたくさんあるが遊具がないので遊具をふやしてほしい
図書館についてですが、本当であれば南魚沼市図書館位の規模の図書館が欲しいです。 新たな設立が難しいようであれば、予約した図書の受取と返却を、せめて市図書館に行かずとも町の図書館でできるようになってほしいです。
自治体の予算が限られているので、公共施設の施設利用料の値上げや規模縮小は致し方ないと思います。今まで値上げしてなかったのがありがたく、光熱水費や物価高騰に合わせてスムーズに値上げしていてもよかったと感じます。 また町民の立場で都合の良い回答ですみませんが、施設利用料について町民以外の方の利用料を高くしてもらい、町民は据え置きにしてもらえると、利用頻度が増えると思いました。現状、近すぎて利用頻度が少ないのもあるので。 また既に努められていると思いますが、公共施設の省エネルギー化（ボイラー・空調機等の機器の高効率化や照明の LED 化等）を進めて、光熱水費等の維持管理費を削減することも一つの方法かと思いました。代わりに改修工事が発生するのでイニシャルコストがかかりますが、具体的な投資回収年数を検討して優先順位を決めるのが良いとも思いました。機器の更新については投資回収年数がとても長いことが想定されますが。省エネルギー化については今の仕事で行っているので、部分的にはボランティアでも対応可能です。
建物の老朽化、コロナ禍、維持費等々課題は山積みなれど、体育館が激減で利用者としては、バレー&バスケが二面可能な施設を是非とも作って頂きたいと思っています。
岩原方面は散歩やランニングコースに適していますが施設が無くなる事でトイレや治安面に不安を感じます。グランドなどを無くす場合、その点に気を配って頂きたいです。 人口が少なく外部利用者も少ないグランドはあまり必要性を感じません。グランドでしたらば湯沢学園にもありますし。人流面でもなるべく人を一箇所に集めるような工夫（例えば学校前行きバスを増やすなど）をすれば、多種多様な年齢層、立場の人に接する機会が増えて子供の教育にも良好と考えます。 また老人や独身者などの孤立孤独対策にも繋がるかのではと考えます。 あとは、バランス的には図書館も充実させるべきと思います。高校もなくなり若い人の文化祭もなく、文化面で活気のなさ貧しさを感じています。 何とか無いなりに工夫して、より良い町づくりに期待していますので、宜しくお願いします。 後はこの場をお借りして、 若い人に焦点を当てて流出防ぐには、 魅力的な町にするには、 交通アクセスを良くする事です。簡単ではないと思いますが、たとえば湯沢から高速バスの県内便がないなら池袋線でも湯沢でしたら乗降りしても良いと言うようにしてもらうなど、バス会社に交渉してほしいです。 働く場所が多い都市地域に安心して通勤できる環境を整えて頂きたいです。
一部の町民へのアンケートではなく回覧板なり町からのメール等で全町民からの意向を聞くべき。
全て町での管理は難しいので民官で何とか維持してもらえれば有難い。南魚沼市の姉妹都市セルデンの施設（公共と営利を兼ねる）のあり方が良いな、と思う。
特定の人だけでなく多くの人が利用出来る施設が出来ると良い。
利用者が少ない施設は、縮小すべきかな？
直接町民の利益に繋がる施設は値上げしても存続して貰いたい

昭和の遺物的な施設が多いので一度整理して考える必要があると思います。
スポーツ関連施設の魅力ある活用方法について、もっと検討すべき。湯沢高原はもっと町民優待があっても良いと思う。
湯沢町の場合、町民だけではなく、観光客や移住者をよび込むための施設という観点が必要で、例えばカルチャーセンターは、車がないと行きにくいので、駅近くにもっと何かあればよいなと思います。現在、建造中の主水公園の施設はそのよい例ですが、小さい子供たちが悪天候のときに遊べる駅チカの屋内プレーパークが欲しいという声も聞きました。他には、町役場の外観があまりに薄汚れてきているのを表面だけでも洗う、磨く、何か貼るとか改装できたらよいなと思っています。ゼイタクではなくて、「身だしなみ」の問題です。総じてなかなかよく運営されている町政だとは思っております。いつもありがとうございます！
スポーツ人口が減ってると思う！ファミリー層をターゲットしたレジャー施設を望む！　山登り、トレッキングブームなので（運動）旧三国街道を整備してトレッキングコースも良いのでは？　湯沢、バーベキューを気軽に楽しむ場所が無い??　湯沢高原スキー場専用駐車場作ればもっと利用客増えると思います。　湯沢高原アルプの里、高山植物、ガーデニングの専門職の配置
維持、利用者増加を希望
温暖化が進み、夏は外で遊びたくても遊具は火傷しそうに熱くなっているし、日影ばかり探してしまうので、屋根や木陰などが欲しくなる。配置するのは大変だが。希望は室内の公園。季節を問わず年中遊べる。集客も望めそう。遊具の劣化も防止出来るかもしれない。 全ての施設において、毎月の点検、修理、整備は確実に。 また、今回のアンケートにより、知れたこともあった。 町民に意見を聞いていくことはとても良いことだと思う！
町民にこのようなアンケートを取ったところで、町民は施設やサービスを充実させ、利用料を低く抑えることを望むのは自明の理である。しかし、当然ながら町の資金には限りがあるので、町民や関係者に反発されたとしても、施設を縮小していかなければならない。　最終的な意思決定をする立場にある町長は選挙により選出されており、支持を取り付けられないことには消極的になるであろうこともまた自明の理である。しかし、そうであればなおのこと、大衆からの支持を失っても、冷静かつ合理的な決断ができる勇気と気概こそが、真に求められる政治家の資質であると言える。アンケートの結果にかかわらず、町長には嫌われる覚悟で、真に湯沢町の益となる英断を望みたい。　町民や納税者らは、バブル期の豊かな財政という幻想にとらわれている者も多いように思う。税金で賄われる観光施設により利益を得ている関係者が反発することも予見されるが、彼らは町を支える納税者ではなく、他人の納めた税金にたかっている存在にすぎない。　観光産業は税金によって支えられるべきではない。真に魅力のある観光資源ならば、それこそが自ずと富の源泉となるのであり、税金による所得の再分配機能で維持される産業は、人々の未来に寄与しない。　町政の全体を見て、痛みを伴う知者の決断ができるのは町長のみである。収益の上がらない施設はすべて廃止すべきである。仮に民間への譲渡に時間とコストがかかるのであれば、それは民間における競争力のない負の財産であることの顕れである。これらを維持することは、町民の血税をドブに捨てているのと等しい罪深い行いだということを肝に銘じていただきたい。
湯沢カルチャーセンターの中に、指定管理者と総合型地域スポーツクラブという無関係の会社が入っていてややこしい。 総合型は教育委員会が作った団体だし、教育委員会の仕事がほとんどなので、教育委員会の最近空いた部屋に移動したほうがより地域へのサービスになると思う。

無駄なものを削減は大事。公共施設をどんどん削減すれば、魅力も何も無い町となり、廃れていく一方。今ある施設を工夫し集客、町内外から、やる気、盛り上げ、新しい風（人、考え、ものなど）取り入れ、委託してほしい。
公共施設の整備については、町民生活の向上を目的としているが、町民の利用率は少ないと思われる。今回のアンケートについては、町民の利用等によるアンケートであるが実質的には、「観光の町」として優先的に維持すべき施設等についてのアンケートをすべきであったのではないか。 他町村にあるような（例えば、弥彦　おもてなし広場）足湯等を利用した複合的な観光施設を建設する事で町民も利用する機会も増すと思われる為、建設の検討を希望する。
せっかく施設があるのに、いつも空いていてもったいないと感じる。町民の心身の健康のため、ぜひ施設は維持して欲しいので、町民や観光客それぞれに対して利用者を増やす施策が必要なのではと思います。
町民負担ゼロになるよう利用料をあげて現状維持できるようにしてほしい。道の駅みつまたは立地的にもよくなく民間に委託して旧健康ランドに道の駅にしたらもっと利用者も増えるし便利になると思うけど
みつまた道の駅が大好きです。野菜も安くて、湯沢の町まで出れなくてもとてもうれしく思っています　苗場に住んでるので、不便です。同じ湯沢町なのになぜかこりつしている感じです。1件でも苗場にコンビニがあればうれしいです。生活もとても豊かになると思います。ヨロシク！　苗場の雪げしきが大好きです。
①　⑩ しんたいしょうがいしゃのしえんが、ほとんどない
バラまきの時代は終った。と言える時代　国からの〇〇金にたよることをやめて自助を第1として。自助、共勤、公助は役所のことば、であるならば役所から自助のスタイルを見せてもらいたいと思います。
湯沢町は観光地としての施設は必要であり、①⑩⑭などは大切な施設であろう。共同浴場は三ヶ所位にしぼってもよいのではないだろうか？　陶芸工房や体験工房などは利用者数との関係で廃止する。あるいは料金の設定を考えるなどで対応したらどうであろうか。「道の駅」はトイレなど必要であるが、共同浴場などはいらないと思う。
維持できないのなら縮少、譲渡するのはしかたないと思います
・岩の湯に露天風呂が有ると良いと思います。 ・（バスの件）町営バスが土、日運休ですが、県外での日夜運営はワンボックスカー（6、7人乗り）デマンドバス定額料金で予約制ですが、乗って来ましたがとても便利でした　免許無い人も善いし免許返納に繋がるのではないでしょうか？　忙しいと思いますが他の地域も参考にしてもらえたらと思います。
観光地なのでこのまま町で維持していってほしい
無駄な施設は作らない方が良い。
湯沢、湯の街・スキーの街として、30年以上前にリゾートとしてマンションを買った。その当時は、各施設を利用させてもらいました。今は人の手を借りないと歩けなくなり、町長はじめ議員の方がJ・Rにかけ合っていたゞき、エレベーターを取り付けていただた事に感謝致しております。（観光立町宣言　湯沢町）ガンバレ
今ある大切な自然をこわさないで欲しい。

車がなくても生活が出来る町にしてほしいです。買い物も不便ですからミニバスで電気自動車を走らせてほしいです。町中と六日町あたりまで走らせてもらうと助かります。コストコ等に来てもらうよう話してほしいです。高速のおりた所あたりに誘致してもらえればいいかと。若い人達も移住して来るでしょう。
それぞれの施設が住んでいる人にとって重要となるので、意見もさまざまだと思います。私は三国地区なのですが、宿に魅力があれば人は勝手に遊ぶ所さがしても来てくれるので高い維持費がかかり利用者が少ないのであれば無くして、その費用を他に回しても良いと思います。観光立町を唄っているので温泉施設、道の駅は必要かと思いますが、町民の利用の為の施設はいらないと思う。スポーツ施設は学生の合宿では必要と思うが、それ以外での利用が少ないのであれば、民間企業に譲渡し、プロ野球を呼ぶとかイベントを企画してもらうなどしてもり上げて頂いた方が集客にはつながると考えます。大源太キャニオンはキャンプブームもあるので、人件費をおさえてアピールし、利用料を頂けば収益UPにつながると思います。湯沢高原は町の近辺の人にとっては重要だと思いますが苗場で商売する人は誰も進めません。これぞ税金の無駄使いだと思います。山鳥原も平標山の駐車場管理のみにして施設は利用者が少ないため必要ないと思います。駒子の湯の利用者はほぼ住民でしょ？　観光にはつながらないと思います。宿場の湯も同様です。以上
維持管理の大変な時代となっており今後の公共施設等早急に検討願いたい。
多数の人が来訪するような魅力的な施設になるよう御一考下さい。住民数は限られているので、観光の町湯沢として町外の来訪者がリピートで訪れたいと思うようにすることが重要では。8000人足らずの町で上記の公共施設があることはすばらしい事と思われるので維持向上を期待しています。
費用をかけても観光資源を有効利用する事を考えて下さい。町民負担が必要なら町民に無料で利用してもらいたい。高原は町民に無料開放して町民の利用をふやす。利用がふえれば経済効果も上がる。
スポーツができる室内施設を作ってもらいたい。
⑧旭ガマは不要と思う。働いている人もよくわからないし。
共同浴場は、年齢で無料は反対です　利用料金は、支払うべきです　私も数年で無料年齢になりますがそうなった時抵抗の気持ちになります　今は半額ですが普通に支払いたい気持はあります
民間に委託出来るものはなるべくその方向で。町民の負担を少なくして欲しい。
湯沢高原の活用法、町でもう少し考えて欲しい
町政のあり方にかかわるので、議員さんや町民の皆様の意見を今後もくみとって、方向性をしめすしかないでしょうね。
共同浴場全体で料金を徴収してはどうか
長年レジャーに対する施設をふやし結果町がうるおっているとは思えない。今後は商店など今までの施設をいかしていけるのなら湯沢で働いて生活できる場所をふやしてほしい…　若い人達がくらしやすい働きやすい湯沢に…　県外からの受け入ればかり考えず湯沢でくらしている地元の人を大事にしてほしい
湯沢は高齢者が多いと思うのですが、公共施設、特にスポーツ、レクレーション系施設などは、高齢者のためでないこと。まず一番は湯泉のある場所に行く足（乗物）がない事。ミニバスでもそうゆう施設を回ってくれるとか、ボランティアでしてくれる人には、利用者たちがお金を出すとかあれば楽しみである温泉とか買物、イベントの集り等々大いに助けになると思う。スポーツ、レクリエーションなどは、高齢者にとって

は乗物があれば見る楽しみを味わいたと思うけどプレイは一部に限られると思うのでもう少し縮少して経費をへらしたらいいと思う。高齢者が、色々な年代の人達と外で（公園とか）交えたらいいと思う。
当初①～⑭の建設計画は町民生活（観光客含む）の向上のための施設であると思う （イ）維持費用がかかるから解体は言語道断である （ロ）当初計画から利益を追求しての計画？ （ハ）当初計画の原点に帰えり、老朽化については整備を早急に進める（災害等に対応） （ニ）維持費用は問9．の選択肢「2」のように行政の費用縮少（例えば議員の減少等） （ホ）赤字でも維持し、もっと町民にPRと啓発を進める（問8．B－6） （ヘ）県内9町村の内、建物部分の床面積は2番目であるとの事 町民に対し、PR、啓発し少しでも多く利用してもらい、誇りを持たせる（他町村は恨めしいと思う？！） 以上（イ）～（ヘ）は順位は関係なし
維持費用の抑制は無利ですか 集客のアイデアは
日々の公共施設運営には、ご苦労様でございます。感謝申し上げます。湯沢町の公共施設は、町民だけでなく、町外からの利用者も多いと思います。ある意味観光資源でもあります。利用料金の値上げも維持管理上必要であれば、それもやむなし。ぜひ、工夫の上、維持管理、よろしくお願いいたします。
湯沢高原への税金の使い方については特に考え直して頂きたいです。施設に税金を使うことに対して町内で経済効果があるのは一部地域のみで、三国地区へのメリットは何もありません。三国地区にも同様に恩恵があるものは何もなく、いつも疑問を感じています。同じ町内なのに差別されているなと思っています。道の駅についても三俣地区以外には何もないところに税金が使われ、店舗としての収益が少ないのであれば経営についてもう少し検討すべきなのではないかと思います。もう少し町民に対して利益がある税金の使い方を考えて頂きたいと考えます。
湯沢町の公共施設は全体的に古さを感じものばかりである。（見るからに昭和を感じるものばかり） レトロ博物館ではないので、観光客がどのようなものなら目を引くかを検討していくべきである。SNSで取り上げられた時の集客力はとてもすごいものだと思う。現状維持も大切だが、それ以上の目標を持って観光面には力を入れていってほしい。
高令浴場75才無料はいし 二俣二居浴場はいし
湯沢町は町で保有、管理する施設が多過ぎる。観光の町湯沢として残さなければならない施設は別として、他の施設は民間企業に譲渡すべきと思う。特に湯沢高原関連施設は譲渡出来ない場合夏場の観光施設を残し、スキー場は廃止すべきだ。他のスポーツ、レクリエーション施設についても譲渡先があれば民間企業にまかせるべきだ。
工房大源太は問題あり。利用者少なく施設がもったいない。青少年旅行村もキャンプ場としては使いづらい。近年のキャンプブームの中でもあのままでは使う人は少ないと思う。まずリピーターにならないでしょ。“またあのキャンプ場に行きたい”と思わせないキャンプ場は成功しない
・施設を作らない。 ・施設を少なくする。
観光立町であり、ある程度の施設は必要と思うが総花的設置は駄目
私は利用していませんが、湯沢町が観光の町として他県の人たちに喜んでもらいたいと思うなら公共施設を町が費用を負担しても維持していくことが良いと思います。
多種多様化する時世に応じて縮減は早急に検討するべきと思う 利用者数もそれなりに多く、尚かつ町民負担が少なく収益のある施設は、今後も期待できるのではないかと思う 維持費用と収益のバランス

が良い施設を残し観光面においても将来的に期待できる公共施設の維持管理を願いたい　自然に恵まれていて、自然災害も少ない湯沢町は、今後も町の魅力を利用しての誘客を工夫したり、町民にも恵まれた還境である事をアピールする事も必要かと思う
子供の通学、お年よりの通院などでバス停に待っている時、夏はあつすぎる、冬は寒さやシッパネでとてもつらそうです。何とかバス停に屋根やシッパネ防止を考えてほしいです。
負担額だけ見れば高い方から必要ないとなります。産業連関表の作成を急ぐべきです。
・(オート)キャンプ場を作れないか？　穴沢河川公園や鱒どまりなど　・温泉通りの景観は、もう少し何とかならないか？　・大源太方面の施設は、観光会社のツアーに組み込んでもらうような営業はしているのでしょうか
町の方向は観光と考えるが、施設維持を考えると財源が必要不可欠と考える　高齢社会(非生産性)が増々増大するなか、難かしい舵取りを要求されると思いますが、町の方向性を長期的観点で捉え、孫子の代まで住み良い町であることを願っております。
現施設は観光客相手の物が多いのは観光立町で仕方が無い事ですが、町民が気軽に利用出来ない面があったと思います。管理が今後負担になる事が考えられます　町民にも手伝ってもらう案ですが(ボランティア・シルバー等含む)出てもらった場合何んらかの徳点がもらえる、例えば浴場の掃除に参加したら、入浴券が得られるとか…。それから、町内会の行事等に利用してもらう、祭り、花見等に利用してもらい、ついでに掃除・片付け等を依頼するとか、町民に地元の施設という事を認識してもらえれる様な気がします。
※スポーツ関係の施設は合宿等外部の利用が多いと思われるので値上げしての維持　※湯沢高原やフィッシングパーク、オーロラなどレジャー性が高いものは一般企業に譲渡し、もっと魅力ある施設にしてもらいたい
公共施設の維持管理に尽力されている事感謝しています。年間の利用者数を見ると必要とされている施設が多いと思われます。問11は3つまでの○でしたので外しましたが、共同浴場は是非とも残していただきたい施設です。個人的にはこれから回ってみたい施設です。
小さい子供がスイミングを習えるようなプール施設がずっとあったらと思っています。学園のプールではなく、町民が誰でも利用できる(25mプールなど)プールが希望です。
作った施設は、当然維持管理にお金がかかります　そんなことでビクビクする様な湯沢町ではないと思います。
車を持っていない、Uターンと移住の夫婦なので湯泉をまわりたくても足がありません。温泉めぐりバスが駅からあればのりたい。あと外から見たらわかりにくい。SNSなど使ってほしい。足湯がなくなると、行き場のない、若い温泉客のみなさんが困ってしまうので、変わりの何かができないなら、絶対に無くさないでほしい。温泉は資源なので、一つ一つで見るのではなく「全体で一つとして」考えて、きちんとアピールしてから続けるか考えてほしい。
町の人口からいったら施設は多過ぎるとは思うけど観光立町ということから考えると、夏場の学生が使用する運動施設は必要なのかなと思います。今のところは…　ただあまりにも利用者が減っていくようなら廃止しても仕方が無いでしょう
・箱物施設は老朽化と共に廃止検討、尚、必要とあれば民間に譲渡すべき。　・今後の開発計画は官民一体型で検討し、完全委託化。　・湯沢は自然を生した開発を進めて行くべきだ。

公共施設の1つ1つをどうすべきかはよくわからないが、今ある施設を利用し行ってみたいと思えるようなイベントを開催をしてみたらどうだろう　湯沢高原などはもう少し花を植える（町民参加にして）などしてみたらと思う　県外からの人に行く所はないかと聞かれても湯沢高原（アルプの里）は1回行けばもう行かなくてもいいと言われた事がある
共同浴場を作る際、老朽化や維持について多様な意見があった様に聞いています（長い先に維持が大変になるなど）　小子化やコロナ禍が長かった為利用者が減って来たのも一因かと思われます。“観光地湯沢町”を今後どの様にピーアールし、今ある施設を多勢の方々に利用して頂けるかを考えていけば良い様な気もします　湯沢町民の人口減少もあるので、負の遺産にならない様にしていきたいものです
・老人や町民が使用料が無料にしないで所得制限をもうけたら良いのではないでしょうか　・利用者数が多く町民負担が無いものは、もっと機能やサービスを増やして、利益が上がる様に考えたら良いのではないでしょうか　・理想ですが、八海山の様に1つの場所で色色なものが味わえるパークがあると良いです。バラバラではなく今からでは無理かもしれませんが。
町民の健康の向上の為、（レクリェーション　スポーツ施設）はぜひ、残してほしい。…※国保、介護保険の費用もおさえることになると思う（スポーツ　レクリェーション施設の利用者促進の工夫を、もっとしてほしい。）
昨年6月に、ここ湯沢に引越しをして…あまり良く解っていません。回答も、施設を利用していませんので、満足に出来ず申し訳ありませんでした。
新幹線も停まる場所なので、住みやすい街作りを徹底すればもっと若い人達も増えて上記の施設も活かされると思う。“西口は温泉街”に対して、東口をもっと商業施設を拡大すべき。スーパーが一店（のぐち）だけなのが欠点！！　東口のアーケード街も発展性無く残念。湯沢って温泉旅館とリゾートマンションだけなのでしょうか？　10年もたつとちょっと変化が起きるものだけど、変化がとぼしい町です。もっと、人が集まれそうな場所なのに残念ですね。もったい無いですね。
主に外湯を利用させて頂いています　そこで出会う人達との会話を聞いたり日々の楽しみとなっています　湯は健康維持と日々の活力となっていると考えます　年を重ねていく人が、末長く通いやすくなるような、交通の手段ができると良いと思っています
私は浅貝に住んでいます。湯沢町に行くには3～40分かかり多くの施設がありながらほとんど利用出来ません。しかし週1度福祉バスを利用しています。このバスを利用させていただき公民館に俳句の会に通って町の人とのコミュニケーションを取って幸せに感じています。そして医療センター内にあるプールで歩いて健康維持しています。浅貝から湯沢までバス代が以前700円片道かかっていましたが今は片道100円で利用出来とても助かっています。
湯沢町の自然の美しさに癒されてお世話になっております。マンション購入当初は湯沢や県内の名所を観て回りましたが、現在は高齢になってしまい、町の施設もあまり利用しておりませんのでわからなくて、すみません。湯沢は夏野菜もお肉も美味しいのですが、駅前の鮮魚店が閉店して、新鮮なお魚が手に入りません。お魚も野菜と同じように“旬”が感じられますし、感じたいのです。アンケートから逸れてしまいましたが、老夫婦の会話です。
中・高生や子どもを持つ若い世代の意見を多く聞いてみたら先が見えてくるのでは。

・ノリタ光学跡地の有効活用の提案したい。①データセンターの企業誘致する。②専門学校等（スポーツアカデミー・アルビ）の学校誘致する。 ・湯沢中央公園のテニスコートが古い設備となっているので設備の整備する。 ・中子墓地付近の宅地の有効活用で企業誘致する。
維持する為に、これ以上施設を増やさない方がいい。山鳥原公園とは、どこにあるのか知らなかった。
人口減少に共ない協同浴場の何が多すぎると思います。他町にある施設は復合的な要素があり楽しい温泉協同浴場になっている。分散型か、一ヶ所に集中させる考え方もあると思います。
1. 財政的に困難であれば、民間に譲渡し、管理費の削減に務めた方が良いと思います。 2. 利用者が多いところは縮少してでも、町が維持すべきです。 3. 利用者が少なくて、管理費が高い施設は廃止すべきと思います。
他の町のように、雪があっても楽しめる施設を考えてほしい　湯沢には、すべてがちゅうとはんぱな物ばかりでアンケートにこたえても、なにもかわらないと思う
レクリエーション施設を町民対象で考えるなら高齢化している湯沢町に必要なものなのか？考えてほしい。県外者で考えてもこれからのレクリエーションで冒険してまで税金の投入は考えられません
・レジャープールは利用期間も短かく、そのための維持経費も少くないものと考える。湯沢には川遊びの場もあり、プールが必要とは考えられない。
古い建物は壊す事！　公民館の水道がいい令である！　数分で何tもの水が地下にきえた？
土、日でも中央公園、公園側のテニスコート、フットサルに人がいない　公園は少し遊具とか花を植える等、時間を長く過ごせるとか工夫が必要だと思います
利用者の少ない施設の縮減は、やむを得ないのかな…と思います。
共同浴場について、高齢化が進むにつれ、75才以上の方に無料が発生されているが78才以上の方に無料するのはどうか？　更にまた、湯沢居住10年以上の78才以上の方に無料する事を考えてほしい
もっとアピールして下さい
町が維持、困難ならば、すべてやめて必要と思う人々が考えれば良いと思う。町民がなにも支払ってまで続ける事はないと思う。町民も高齢化が進んでいるので、その点もよく考えてほしい！
維持費の内容を精査して検討　まずは、内容の確認が必要だと思う　問題点の確認　収益のある所は維持しするのは当然と思われる　収益のある所も維持すべき施設に入れる必要があるのか？　解答覧の内容がすべて終わらせすようで、発展的解答案がないのはどうしてなのか？　各施設の問題点についてアンケートしたら具体的になるのでは　その解答内容に思われる
民間でできるものは、民間に
共同浴場　高齢者からも多少は払ってもらっても良いんじゃないですか
子供が集まる場所作り、まずは子供を増すこと
◎共同浴場に休けい場所があると良いと思う（湯あがりにゆっくりできる）　◎中央公園の芝の広場に犬を散歩させ、排せつさせている人が多く、大便は片づけている人が多いと思いますが…たまに犬のフンがそのままに　土日祝日などに小さな子供が芝の上に寝ころがったりして遊んでいるのを見るととても衛生的とは思えない！　たまにイベントでキッチンカーとかで食べ物を売ったりしているのですが衛生的に安全なのか心配です。 ◎山の湯は温泉の質も良く好きなのですが駐車場が狭ますぎ何とかしてほしいのとシャワーはつけられないのでしょうか　車で上の駐車場に登るのが大変　特に冬　温泉の質が共同浴

場の中で一番良いのですから場所を下に移せないのでしょうか　・年に1ケ月だけの営業しかしないプールはもったいなすぎです。何とか他の利用を！　冬に観光客が天気が悪いと遊ぶ所が無いと言っているので子供の遊び場を作った方が良いのではと…（小学校のあととかに）
漠然とダラダラと施設を維持せずスリム化が望ましい。
共同浴場はそのまま町民の為の場所だと思います。年間料金が上がってから若者の利用者が少なくなったと思います。高齢者だけでなく、若者にも負担なく利用出来ると良いと思います。運動公園など歩いている人が多く見られます。軽く運動出来る器具などあると、うれしいです。
町だけでなく日本の人口も少なくなってきているので利用者も少なくなっていくと思う　維持するのには大変なので直ぐにでも少なくすることを望みます　民間に譲渡した方が規制が無く町を活性化してくれると思います　各町内が持っている公民館は大丈夫なのか、各町内区長にも聞いてほしい
山の湯は源泉かけ流しでこの辺ではとても良い温泉です。維持してほしいのですが、下に広い駐車場はありますが、上の駐車場までがカーブがきついので建物の近くまで楽に乗り付けられるようにできたらいいなと思っています。
この調査のための情報提供が不足しています。R6ふれあい懇談会などでお願い致します。WebのAmazonポイント500円謝礼は反対します。
赤字の施設は縮小、廃止、解体したら良いと思います
高原は維持は大変でしょうが、観光客の事を考えると、続けた方が良いかと　町の移動で各施設を回る場合、手段が無い　町民のお風呂で、お年寄りが無料と言うのは、どうでしょうか　年間いくらでも、お支払いの方が、良いと
ご苦労様でございます　当地に移住致しまして、まだ1年ばかり、方向さえ覚えるのに一苦労の有様です
町民に対する公共のスポーツセンターのPRが少ないと思う。利用できる事のアピールが少なすぎる。一部の人の利用しか見られない様に思える。湯沢も老いた町の仲間入りしているので、若い人との交流的なスポーツ施設が大事になると思う。まだまだ気持ちの若い年よりも多いのでよろしく！
維持する為には多少の個人負担も必要だと思います。昨今物価も値上していますし、人件費も必要なので利用する為には個人負担致します。
湯沢フィッシングパークは、東京方面のお客さんが多いので、営業してほしいです。
廃業したスキー場町営で復活してみたら？
町民が多く使用する施設は残していくべき。観光などで使用する施設は値上げも考えるべきかも　町民を優先して考えてほしい　山鳥原公園を維持すべきは、駐車場がなくなると国道に車をとめられて迷惑になるため…その施設がなくなった時どうなるかも考えてほしい　アンケート答えたら（web）Amazonポイントは必要ですか？　私はネット買いが好きでないのでweb回答はやめました。500円分どれも町民税からだと思うのですが…　今回のアンケートとは関係がないのですが、せっかく町のラインをしているのだから国道が通行止になっているとかの情報を流す費用に使用してほしい。
駅周辺のリゾートマンションの移住者です。車がないのでカルチャーセンターがギリギリ徒歩圏です。公民館はよく利用します。室内プールを昼間利用したいと思いますが、スポーツクラブやジムのような使い方は、できませんでしょうか。リタイヤメントビレッジが理想です。

・公共施設は観光資源でもあるため、是非維持してもらいたい　・住民が格安で利用できる等工夫して頂いている。観光客から何らかの形で利用料を頂く方法はないか、又電気等一方的に値上がりが続くが電力会社などにも値下げなど努力を訴えられないか　・高令者の旅行客が多い時期に安くて小回りのきく交通手段を提供し、色々と観光してもらえないか　・大源太がオートキャンプ場で人気が上がっているが、苗場のように民間に協力してもらい一大エリアとして再構築できないか　・登山関係の整備は急務と考えます。町議さんが指摘されていた通り林道の荒れ方はひどい。移住者のボランティアや外国人スタッフ等人材を集める必要有。これだけ町が努力されているのですから、皆で力を合わせて様々な異なる力を結集させたいものです
1. 近代スポーツ　例えばスケボー等の施設を作る　1. 大源田地区　体験工房的な施設の拡大　オートキャンプ場等を増設　1. 主たる施設にも寄れるコミュニティバス（交通の便）を　1. 小学校跡地の利用、及び貸出し　1. 学生等の合宿等団体に対する宣伝と対応強化
町内の人々が集まる様に宣伝する。町外・県外の人々が集まる様に魅力ある催し物・場所にする。行けばいつも何か変わったこと魅力ある事がある用にする。
共同浴場は別として、他の施設は外側のみで内容に力が入っていない様に思う、宣伝も少ない、人口が減少（若者など）していく中で維持、管理が大変苦しくなるでしょう。
共同浴湯の件　・町外の人に対しての金額（年間利用券）を町内と一緒にすることはないと思う！　・70才以上の年間利用券は半額￥12000でよいと思う　・75才以上の方を無料にすることはないと思います　少しの利用券￥5000か￥8000とるべきだと思います
13、2、回りにそれしかないのでつまらない遠いし
①湯沢高原は町のシンボルですのでなくしたくはありません。山頂へ出た時の充実感が今一つ足りず記憶に残る様な記念がほしいです　（例）自分の写真入りキーホルダー作り　上のレストラン内での活用　写真展、高山植物に関する展示etc　②共同浴場めぐりのバスの巡回（一日利用券とか）　四季の良い時期に一日でも温泉に浸って過ごしたいですが車のない人には無理です　③湯沢中央公園に立派なセンターがありますが利用する人は限られていると思います。誰でも気軽に行かれれば利用者も増えのでは？映画鑑賞会とか催事を多彩に利用、何処にも行かれる交通手段が必要です。　④湯沢町の観光協会が分かりずらいので工夫してほしい。暗い　⑤高齢化社会、少子化対策にもっと力を入れてほしい（医療、施設の充実）
共同浴場は観光客が来る時期は駐車場が足らないと話に聞きます　町民も利用されている人が多いので、考えて頂けたらと思います　レジャープールは夏場のみですが、春～秋にも利用できる何かあればと思います。（水泳教室など）
基本的に共同浴場が多い。湯の町、湯沢ということである程度の数は必要と考えるが少し多いと思う。○印の施設は観光資源として絶対に必要です。昔からある施設で老朽化がはげしいと思いますが、なくしてはいけないと感じます。
・共同浴場は町民にとりとても優遇していると思います。家族の多い所はとても助かっていることでしょう。但し不公平感もあります。お風呂迄歩いて行ける人がお得かな、の感はあります。車で遠い人もある。　・スポーツもいろいろですが、生活に余裕のある人が多く楽しんでいる感があります。町の経済が大変ならば、そのような人達の使用料は上げるべき、と思います。（卓球、グランドゴルフ、テニス他）大人に限ります。高くても行く人は行くでしょうから。　◎子供や多忙で時間や生活に苦しむ人にスポットをあて

てください。楽に暮らす人達からは使用料をしっかり取って、なるべくならそれぞれの施設を維持して頂けたら有難いですが、むつかしい！！ですね。観光に役立つ施設は必要と思います。
自分のような中高年の地元民は、共同浴場以外の利用はほとんど無いのでは？　他の施設は観光客向けや合宿客用。一部、学校行事や子連れの若い世代がキャンプ場、プール、カルチャーセンターなど利用しているように思う。行った事も見た事も無い施設を、どうこう言う事は出来無い。
湯沢高原の維持がとてもたいへんなのは、以前から聞いていますが、町がよくみえ、高山植物がみれ、昨年はスキーにもいきとても楽しめました　高原を残こして下さい
まだ湯沢町のことを良く分っていないと思いますが…（この町に住んで1年と少し…）　観光で来る人からお金を湯沢で使ってもらえるよう考えられないものかと…　東口、西口とももう少しなんとかできないものかと…　公共施設でなくとも、町にお金が入いれば“道”もう少しきれいにできるかと…　町民のためになる公共施設…　なぜだかこの町に本屋がない…　アマゾンで買えば良いと…？　知識欲も、大事かと…　ショッピングモールなど考えられないかと…　公共で考えれなくとも…町で考えていかなくては…　町がうるおっていけば…若い人も町に残って仕事ができる…
共同浴場は、いくつもいりません。
有効利用するには、売却もやむなし。早急に着手するべきと思います。
湯沢町はマンション税収があるのにもかかわらず平均的にサービスが不足してるように感じる。■は魅力的な施設が無い。地元住民が使用しやすい何か？必要かもです。民間の力を借りるべきかと思います。行政では斬新は無理かと…
それぞれ個人の意見は違いますから、何が必要で何が不要かどんな意見が出るか楽しみであり、継続できるものが増えるといいけれど、地元の人と観光に来る人の好みもわかれると思います　地元の利用者が少ない施設が多いと思いますが、思ったよりどこも利用数が少ないと思いました　何かインパクトのある施設づくりにしぼって利用者を多く集めた方がいいと思います
スケートボード場の開設
中央公園の近くに住んでいます。昨年も花が植えられていたのですが花がきれいに咲く頃には雑草の中で花が枯れとてもざんねんです。私もウォーキング歩中、毎日1・2時間草取りを勝手にした年もありますが近くには早朝散歩や時間をもてあましている（失礼ですが）方もおられます。夏のすずしい早朝時間草取りボランテアの参加を募ったらいかがでしょうか。10分でも30分でも良いと思います。私も参加したいと思います。同じく、湯沢高原でも、たまたま遠くの県外の方とロープウェイで親しくなりいっしょに高原をまわったのですが花もほとんどなく、草がいっぱいで町民として申し分けない思いでした。こちらもボランテアで。　※遅くなりました。
公共施設を若い時から利用していないので、よくわからないのですが、皆が自由に参加できるといいと思っています。
・共同浴場の無料利用者から100円でも入場料金を頂いた方が良いと思う。
広大な敷地を使って1000人程の利用者のためにお金（税金）を使うのは本当にどうかと思います。他の観光地にはない湯沢ならではのレクリエーション系施設ができることを心から望んでいます。　☆雨の日でも来たくなるような、行きたくなるような施設ができることも切に願っています。

今、ある施設を縮小し、大きなスーパー銭湯とか冬も夏も家族で楽しめる様な物が有れば良いと思います　良くお客様に聞かます家族で遊べる所はないかと！！　プール（温水）とかも有れば良いと思います
子供達が室内でのびのび遊べる施設がもう少しあってもよいと思います。観光客で子づれの方が天気が悪い時あそぶ所がなくてせっかく湯沢に来てもらったのに行く所がないと楽しい思い出がつくれないのではないかと考えます。
地域の方にとりましては、それぞれ必要な施設でありその中から選ぶのはとてもむずかしい選択ですが上の三点を選ばせていただきました
人口減少に伴なう為、湯沢の観光に必要な施設を残す様にする。
昔の話ですが他県に住んでいた事がありました。そこでの温泉施設では色々な設備があって子供達も大人も楽しく遊んだ事を思いだしました。湯沢にもそんな所があったらいいなと思います。若い人達の意見を沢山取り入れて下さい。
今はバスを利用しています。山の湯は以前毎日利用しておりました。行きたい気持はいっぱいです。何んとか、バスで行く方法があるとよいのですが、一週間に一度でもよいから、バス利用で山の湯に行く事が出来ると大変うれしいです。（おふろが大好き人間より）
公共施設の中で民間ならより開発費をつかい湯沢町に多くの人を集客できる可能性がある　施設についてはより積極的に譲渡すべきと思う　町政の目的である町民の為になる事は平均年令が年々高くなっている事をふまえて考えて施設の維持を考える　もう一点、より湯沢町を発展させる為に県内外からより多くの人を集客させる事を考えると、小さな施設をちまちまするより企業に売ってより工夫して開発してくれる可能性のある県外企業に売り、そのお金で町民施設に回したらどうか
・湯沢町は、観光立町であるにもかかわらず丸1日あそべる施設が一つもないのがつらい所だと思う。町の施設としてその収入を増せばもっと町は良くできるはず　若い世代からもっと意見を聞いていった方がよい　そうすれば良いアイディアが出てくると思う　観光地であるのにもかかわらず駐車場が少ない　トイレも少ない　雨の日にあそべる施設がない　もっとガンバレ！！
・現状の公共施設はそれぞれ目的があるため、廃止、解体の選択はむずかしいが　①民間企業等への譲渡を検討…どの施設も雪国の特性から年間平均稼働ができず民間参入もむずかしいと思う　②共同浴場については年間利用者、町の負担額等を総合的に判断して整理する事も必要である。※特に二居共同浴場は利用者負担額等から検討する必要がある（冬はスキー客が利用するが夏は少ない）　③湯沢町の各施設は町民の利用は少ないが、観光立町から観光客や外部の利用が多いことから町民の利用状況や声だけで判断すべきではないと思う
今後の税収予測、扶助費予測、インフラ資産更新費予測等をふまえた財政計画に基づき、公共施設（観光、レクリエーション）の更新等にどの程度予算をかけれるのかを知りたいですね。
※全体として残すべき施設は多々有ると思うので問題は活用方法と資源として生かせす事を検討すること　※全体のバランスと調和のデザインが欲しい
・湯沢IC付近にアウトレットモールの誘致　・道の駅の充実
施設の存在は定住者とマンションのリゾートの方とは考えが異なると思う。また、施設の利用者を平均で算出していて推移での変化が分りずらい。これから少子化で人口減少が進むと利用者の減少も必然と考える。利用者数など→湯沢の利点も、考慮し整理して統合、閉鎖したり、民間を募ることも方法の一つ

であると思う。マンションが連立した30年前とは社会情勢が大きく変化したことを受入れて対応せざるを得ないと考えます。
足のないシニアや新住民の足のない若い人、が参加しやすい、キカク！　地域性を楽しむ祭り等、トロリコも、地本の人々が楽しめる、子供も青年も、成人も老人も参加しやすい祭。苗場の音楽家達が前後に公民館で公演したり、一部だけでなく、町全体が共に楽しめるような…。
・高齢者の町内の共同浴場の無料は良くないと思います。たとえば200円でも300でもいくらでも有料化にした方がよいと思います。車がある方は利用出来ますが、入りに行きたいが車がない為行けない方もいます。良い方法は有りますか？
私は年に何回かしか利用しない施設でも、その周辺地域の人々にとっては、かかせない（生活の一部）になっている施設もあると思います。特に共同浴場、スポーツの場ではたくさんの地元のお年寄りもお見かけしています。施設の維持と一言いっても、大変な労力のいることではありますが、地元のお年寄りがはりあいのある毎日をすごすことができるようにできれば維持の方向ですすめて下さればと思います。又、その際はムダがあれば改善してゆくのもお願いいたします。料金値上げもいたしかたないかなと思います。共同浴場（特に冬場に観光客が多い浴場etc）シーズンごとに値段を変えるのはどうですか？　（例）グリーンシーズン　一回の入浴700円　ウィンターシーズン　一回の入浴1100円　とかね
湯沢らしい場所は残していってほしいと思います。利用料金は町民も同一でいいのではないかと思います。時代の流れにあわせてサービスも変わっていいと思います。
観光立町宣言に基づいた町造り。温水プール、屋内運動場、町役場建替え、etc　他市町村を参考として、良いとこ取り検討。割引クーポンによる旅行支援。
老人になると公共施設を利用したくても交通手段が悪く利用できません。
湯沢町がこれほど魅力のない町だと言う事が良くわかるアンケートだった。レクリエーションの場が少なすぎると感じた。地元の人達が利用したいと思える施設も少なすぎ、温泉を活用した大きな施設とかも必要なのでは？　何だかチマチマした施設ばかり目立ってこれと言った所がない。住んでいてこれほど自慢できる所がないのも困ってしまう。
観光立町としてロープウェーは必要　町の核的な物、なんとかキープしてほしい。
スポーツ・レクリエーション系の施設として、温泉の浴場施設とスポーツの施設を一緒に考えて方向性を決めようとしている事が理解できない　維持の問いに関しても、施設がどのような目的でたてられたのかが表記してないと、お金だけの収支だけで政策がきまっているようになっている気がする　町民の健康、心身を健全に保つためにその維持費として適当なのかも含めて検討してほしい　14の施設をまとめて方向性をきめるのではなく、もう少し分類して考えてほしい　風呂は個人でも利用できるが、スポーツは個人だけで利用はむずかしい、しかし利用してみたいとは思っている、町民が参加しやすいイベントや時間設定など工夫してほしい
もっともっと緑豊かな自然をいかし、キャンプ、ランニング色々民間の意見も聴けたら　又スキー場も冬より夏場の入場が増えた（八方？）　全国で成功している点を参考にしてイイアイディアがもっともっとあってもいいのでは？　コスモスマラソンも民間にうつしたが有名な人をもっともっとよべれば、芸能人もどんどん呼べればな～と思っています　山登りも芸能人→三流でもいい、を呼んで一緒に登れば　源太・高源等　坂戸山参考になればな～
現状の施設で誘客方法を今一度考えて維持していけるよう、もう少しがんばってほしいです

「観光立町」として観光客に目を向け楽しめる施設への投資を今後行っていく必要がある。バブル期に乱立してしまった建築物のせいで面白みのない町となってしまっている。民間の企業でよいので年間を通じて楽しむことができるレクリエーション施設の開発を行ってほしい。よろしくお願いします。
入浴施設の縮小を望む。
まず町が観光立町をどのようにつくるのか　この考えを明確に示し観光経済をどうつくるのか　次に町民の社会体育、福祉の面でどのような今後の政策を示すのか　今回のアンケートは行政の無策ぶりを町民におしつけるもの、まず行政は反省が必要

湯沢町
公共施設のあり方に関する町民アンケート 調査結果
令和6年4月

発行・編集：湯沢町　企画産業観光部　企画観光課
〒949-6192
新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立 300 番地
TEL: 025-784-3451　　FAX: 025-784-1818